

令和5年度第4回袖ヶ浦市社会教育委員会議

1 開催日時 令和5年12月12日 午後2時30分開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所 北庁舎3階中会議室

3 出席委員

委員	弘中 邦典	委員	木曾野 真紀
委員	松井 恭子	委員	小泉 康
委員	二宮 義文	委員	佐々木 眞由美
委員	田中 雪夫	委員	中山 正紀
委員	畠山 真一	委員	西田 隆司
委員	木村 育子	委員	岡田 康
委員	稲垣 昭彦		

4 欠席委員

委員	在原 潤	委員	河野 裕一郎
----	------	----	--------

5 出席職員

教育長	御園 朋夫	スポーツ振興課副課長	川西 正宏
生涯学習課長	島田 宏之	生涯学習課文化振興班長	田中 大介
市民会館長	大田 知司	生涯学習課社会教育班長	柳井 健
郷土博物館長	西原 崇浩	生涯学習課副主幹	小川 修也
中央図書館長	塩谷 利之	生涯学習課主事	亀井 翔太

6 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

7 議題

(1) 第39回生涯学習推進大会について

8 報告・連絡

(1) 袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について

- (2) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について
- (3) 令和5年度君津地方社会教育推進大会の開催について
- (4) 各種事業の実施結果について
 - ・第52回袖ヶ浦市子どもスポーツ大会
 - ・第36回袖ヶ浦美術展
 - ・令和5年度市民会館・公民館まつり
 - ・秋の万葉こどもまつり
 - ・秋のトショロ月間
- (5) 今後の事業の実施予定について
 - ・令和6年袖ヶ浦市二十歳を祝う会
 - ・新春マラソン大会

9 その他

10 議事

- (1) 第39回生涯学習推進大会について

【資料1 ページから7 ページを説明】・・・事務局小川

松井委員：実践発表はどんな内容か。

事務局小川：現在、団体と交渉中。候補としては4団体となっており、事務局・公民館及び団体で検討している。候補団体はフラダンス、銭太鼓などである。決まり次第報告させていただく。

二宮委員：1団体か。それとも2団体なのか。

事務局小川：1団体である。

二宮委員：15分は短いのではないか。

事務局小川：本来であれば、しっかりと時間を取って実施したいところではあるが、今回表彰の人数が多いため、会の進行上15分程度で紹介及び実践をしてもらうことで検討している。

二宮委員：できれば、短い時間でもその団体が実施していることが伝わるようにしてほしい。

田中会長：実践発表団体の候補が4団体とのことで、今年度1団体としても、来年度以降残りの候補をピックアップしてもらおう形をお願いしたい。

事務局柳井：資料5ページにあるとおり、生涯学習推進大会の出席依頼がある。例年、社会教育委員全員が出席で回答していたため、今年度も全員出席と回答したいがよろしいか。

全員：異議なし

報告・連絡（１）袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について

【資料８ページから１０ページ、別冊を説明】・・・大田市民会館長

小泉委員：以前質問したが、公民館と交流センターを併記するとのことだが、どのようになったのか。

大田市民会館長：現状となるが、各地区の名称、例えば平川交流センターと平川公民館という名称が、入口のところあるプレートなどに両方記載されるようになる。

小泉委員：横並びということか。

大田市民会館長：建物が交流センターとなるので、交流センターの下に公民館となる形である。ただし、市民会館については、市民会館という名称が市民に親しまれているだろうとのことで、上に市民会館、その下に昭和交流センターとなる形が案として出ている。

小泉委員：石に彫ってあると思うが。

大田市民会館長：プレートをはめ込んでいるものもあれば、金属の板を文字の形にしたものを設置しているところもある。

二宮委員：おそらく小泉委員が気にしているのは、交流センターの一段下という形で書かれると、これまで説明してきた意味にそぐわないと思っているからではないか。なるべく同格という形にしないといけないのではないか。

小泉委員：そのとおりである。大きく市民会館と表示されているので金額もかかると思う。

佐々木委員：町民会館から市民会館になる時も替えたと思うので、時代の流れだと思う。

大田市民会館長：その時にも替えている。お金のかかることなので、現時点では何とも言えない。ただ、公民館条例は残るので、施設の管理は交流センターへ移るが、形は見えなくとも存在している形となる。そのように認識してほしい。

小泉委員：議会に提案して、議題として話し合っているのか。進捗状況を教えてほしい。

島田生涯学習課長：すでに議会へ上程しており、文教福祉常任委員会で審議が終わっている。議会が示している日程では、明後日１４日の本会議で採決というスケジュールが組まれている。

小泉委員：委員会での話し合いの内容を教えてほしい。

島田生涯学習課長：議会での主な質問については、職員配置についてである。現在、公民館には社会教育主事を充てており、その人員はどうなったのかということと、長浦公民館の方ではまちづくり協議会の事務局を行うのであれば、その分の人員はどうするのかという質問があった。こちらについては1人充てる予定であることを人事関係部門が答弁している。このように主に人員に関しての質問があった。交流センター条例は、総務企画常任委員会にて審議している。1つの議案として提案しなかった理由としては、それぞれの委員会で丁寧に審議してもらうためである。

小泉委員：特に反対はなかったということか。

島田生涯学習課長：文教福祉常任委員会では全員賛成とはならなかったが、賛成多数で可決となった。

小泉委員：市長部局へ移管することで、社会教育が縮小してしまうのではないかという心配はあった。我々としては新しい公民館条例の第4条にもあるように、社会教育に規定する事業を行っていくということと、教育委員会が公民館の事業を管理し執行していくということ、守りでなく攻めていくよう職員が力を入れて振興していかないといけないので、公民館職員一人一人が肝に銘じて行ってほしい。

二宮委員：社会教育に関して、国の進め方が一歩引いている中で、県・市町村が主体的に進めている。公民館などの現場では、それぞれが住民のため国民のために熱心に社会教育事業を行っており、その中でも袖ヶ浦市は教育に対して重きを置いていることは皆さんも知っているとおりである。私は県の社会教育委員連絡協議会をやらせていただいているが、個々はきちんと機能して、県とタイアップして行っている。全国社会教育連絡協議会については、ただの法人となってしまっている。ただし、自主的に予算を工面し進めているので、社会教育そのものに対して、自分たちの思いを貫いていけるということもある。特に市町村において社会教育は大切である。我々は自分たちの生活を守るための動きをしていく必要があると考えている。小泉委員が公民館の活動がどんどん縮小していくのではないかと非常に懸念していたかと思うが、我々社会教育委員が目を見せ、一緒に進めていく覚悟が必要だと思う。幸い袖ヶ浦市はそのあたりの理解があると感じているため、今回交流センターというまちづくりの部分を加えたと思うが、

社会教育は人づくりまちづくりと言われるので、不足していることや間違っていることがあれば、自分たちでどんどん意見を言って良い方向へ持っていけるよう、前向きに捉えて進められたら良いと思う。

佐々木副委員長：今まで何度か話を聞いて、施設管理は市長部局へ移管し、公民館の働きとしては残るということを聞けば、すっきりと落とし込めた。では、なぜわざわざ交流センターにして市長部局へ移管するのかといったときに、そこに色々な、例えば災害時の活動がよりスムーズに対応できるという事は、いざという時により活用できる施設となると考えると、建物がそのように使用できるのであれば、かえって良いことではないかなと思ってきた。公民館としての役割は変わらないという言葉信じて、議会にも出ていたが交流センターになるときに職員数の増員が難しいのであれば、配置された職員の役割がプラスになると思う。ただ現在の公民館でも施設管理を担っていたと思うので、マイナスばかりではない。交流センターになったら何が増えるのかという話はなかったが、実際には使い勝手がよくなると信じて、前進だと落とし込めた。

稲垣副委員長：確認だが、現行の公民館条例第5条には社会教育法第29条第2項に規定される公民館運営審議会の設置目的があるが、改正後の第6条からは社会教育法の文字が無くなっている。今後、公民館運営審議会は所管が市長部局となり、そちらで公民館関係の審議を行うということか。

大田市民会館長：公民館運営審議会は引き続き公民館条例で規定することから、その所管も引き続き教育委員会となり、そこで公民館事業について審議していただくこととなる。

稲垣副委員長：引き続き教育委員会所管の公民館運営審議会ということでしょうか。

大田市民会館長：そのとおりである。

稲垣副委員長：社会教育法が外れた公民館運営審議会となっていたため、その所管も市長部局へ移管するのかと思った。

大田市民会館長：現行の公民館条例第5条第2項では社会教育法の文言を使用しているが、総務課の法規担当と相談した中で、上位法である社会教育法で規定されているものを改めて条例に記載しなくてもよいと言われた。しかしながら、公民館運営審議会は公民館の様々な事業を審議してもらう大事な機関であるため、上位法で規定されていても条文には残す必要があるというのが

教育委員会の判断であり、それを踏まえ法規担当と相談し、社会教育法第29条第2項の文言を削除した形となった。

稲垣副委員長：職員配置について議会で質問があったが、公民館職員が市長部局の職員となると、公民館運営審議会の事務はどこが行うことになるのか。

大田市民会館長：館長を除く職員は交流センター職員となるが、公民館運営審議会の最終的な決裁権は教育委員会が持つこととなる。実際の事務としては補助執行により市長部局が行う形となる。

稲垣副委員長：併任辞令となるのか。公民館は市長部局となるが、公民館運営審議会は教育委員会に残すというのがよく理解できない。事務執行は公民館が市長部局に移管するので、公民館運営審議会の事務局執行については市長部局ということであればわかるが、教育委員会で所管するとのことなので、公民館職員は市長部局の職員で事業執行を行って、所管する公民館運営審議会は教育委員会所管とはどういうことなのか。

大田市民会館長：公民館運営審議会の委員は教育長から委嘱される。事務的なものは公民館職員から交流センター職員となるが、最終的な判断は教育長が行う。教育委員会は決裁権を手放していない。事務委任のやり方もあったが、今回は補助執行とし、教育長が決定権を持つという手法を選択した。

田中委員長：各公民館長は教育委員会から出て、それ以外の職員は市長部局からなのか。

大田市民会館長：館長は社会教育法により公民館に置かないといけないため、教育委員会から館長としての辞令、市長からは交流センター所長としての辞令が発令されるため、併任となる。ただし、館長以下の職員は市長部局となり、公民館業務については館長から指示を出すこととなる。

小泉委員：顧問はどうなるのか。

大田市民会館長：顧問は今後も配置する予定であり、教育委員会に所属となる。

小泉委員：教育の独立性を保つためにあえてそのような形にしたように感じる。そこは大切であると思う。

西田委員：交流センターと公民館の併用は、自治会の立場からするとよいと思うが、社会教育委員の立場からすると、教育は不当な干渉を受けないことなどから教育の独立が担保されている。ただし、交流センター所長は館長を兼務していることから、行政に不当な干渉を受けないということを持ちつつ、地方公共団体の長としての指示を受けるので、どのように取り扱っていく

のかという心配がある。地域の交流センターで包括的に活動できるのはよいことなので、評価はできる。

小泉委員：施設の管理が市長部局になるとのことで、経費の部分で問題がでてきたりはしないか。今までと同じ予算で2つの仕事をするのは予算が削られているのと同じだと思うが、どう考えているのか。

島田生涯学習課長：市長部局は施設管理の予算は持つが、公民館事業の予算は持たない予定である。公民館事業は今までごおり教育委員会で予算を計上するため、小泉委員が心配しているようなことはないと思われる。

小泉委員：公民館施設を使用するためのシステム経費で300万かかっていた時もあったと思うが、そのあたりも市長部局となるのか。

島田生涯学習課長：施設予約システムの予算については、市長部局となる。

小泉委員：多目的室などを使用すると金額がかかると思うが、これも市長部局となるのか。

島田生涯学習課長：そのとおりである。施設の使用料についても市長部局となる。

二宮委員：先日、平岡公民館で来年夏まつりを開催しようという話となり、話し合いをした時に、公民館長より職員がまちづくりに関する事業が増えて手が出せないということになってしまわないかという心配をしていた。今後、まちづくりに関して大きなウエイトがかかる事業が出てきたら、その時は市長部局と話をし、まちづくりに関わる職員数や比重を地域で話をする必要があると感じた。具体的な話があれば、はっきりするのではないかと思う。

報告・連絡（2）第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について

【資料11ページから14ページを説明】・・・事務局柳井

二宮委員：宇都宮市で開催された。富津市の「図書館のない市に図書館ができた」という題で、富津市の高橋委員長と担当職員の事例発表があった。市民が熱心に活動し、社会教育委員も刺激され、市長まで届き実現したという素晴らしい内容だった。

田中委員長：栃木県の高根沢町の発表を聞いた。住民2万人程度のまちで、814名が入れる町民ホール、大きな図書館が3か所のほか、公民館図書室も整備されているとのことだった。4市が参加し、

帰りのバス内で研修内容の振り返りも行った。また来年も茨城県で予定しているので、できるだけ多くの参加をお願いしたい。

報告・連絡（３） 令和５年度君津地方社会教育推進大会の開催について

【資料１５ページを説明】・・・・・・・・・・事務局柳井

佐々木副委員長：１月に入ったら出欠等の確認があるのか。

事務局柳井：その予定である。

田中委員長：できるだけ皆さんの参加をお願いしたい。

報告・連絡（４） 各種事業の実施結果について

【資料１６ページから３９ページを説明】

- ・第５２回袖ヶ浦市子どもスポーツ大会・・・・・・・・事務局亀井
- ・第３６回袖ヶ浦美術展・・・・・・・・田中文化振興班長
- ・令和５年度市民会館・公民館まつり・・・・大田市民会館長
- ・秋の万葉こどもまつり・・・・・・・・西原郷土博物館長
- ・秋のトショロ月間・・・・・・・・塩谷中央図書館長

二宮委員：平岡地区の住民は現在５，５００人ほどしかいないが、平岡公民館まつりにはたくさんの方が集まる。地域の青少年相談員等で平岡を元気にする会が発足され、ふわふわガウラの提供でイベントを盛り上げたりしてくれている。夏まつりの計画の提案もある。公民館まつりについては、来年度交流センターができて変わらずに実施していただきたい。新たな動きになるので、サポートをしっかりお願いしたい。

稲垣副委員長：２週にわたって２館と３館に分かれて開催すると、なかなか複数の館に行けないので、以前、シャトルバス等で交流を行う提案をしたことがあるが、交流センターに変わるのであれば、１１月の文化の日前後の全館同時ではなく、各館の特色を生かして様々な時期に開催するのはどうか。例えば、平岡は夏まつりの計画の提案がある夏にするとか、市長部局に移管し、交流センターに変わった新たな取組として、広く集客していくことを検討してみても良いと思う。

木曾野委員：公民館まつりは、聞こえてきたお囃子につられて公園にいた人

たちが来てくれたり、木の葉やどんぐりなど自然の素材を使って物づくりをしたり楽しいイベントがあって良いと思った。

報告・連絡（５）今後の事業の実施予定について

【資料４０ページから４２ページを説明】

- ・令和６年袖ヶ浦市二十歳を祝う会・・・大田市民会館長
- ・新春マラソン大会・・・川西スポーツ振興課副課長

二宮委員：二十歳を祝う会について、新型コロナウイルスの関係で青少年相談員がバックボードを作成してくれたが、その後、式典の名称が成人式から二十歳を祝う会に変更になったことから、バックボードの修正が必要となっている。

畠山委員：長浦地区でも意見が出たが、バックボードの修正が式典の当日までに間に合わないため、今年はそのまま使用することになった。

小泉委員：新春マラソン大会について、毎年参加させていただいている。一般男女は様々な年代の人が参加している。高齢者はもちろん、すべての年代の健康増進は大事だと思う。小学１・２年生だけが男女別の受付時間になっているが、時間を短縮させると全員が開会式に参加できると思うので工夫をしていただくと良い。開会式に参加しながら市長挨拶を聞くことも大切だと思う。

畠山委員：スポーツ振興課と調整しながら実施していきたい。

佐々木副委員長：小学１・２年生が男女別に受付が分かれているのは人数が多いなどの理由があるのではないか。

畠山委員：それもあるが、小学１・２年生は走る距離が短く、スピードも速いので接触事故等を防ぐ意味もある。

佐々木副委員長：１０kmあると、トップと後ろの人との差はあるが、皆さん完走を目指すというのがすごいと思っている。一般男女は年代別がなくなり、年齢の幅が広がってしまった。

川西スポーツ振興課副課長：ご意見もよくわかる。一般男女の年代別がなくなり、賞状をもらえる機会が減ってしまった。しかし、大会主催のスポーツ協会の陸上専門部だけでは手が足りないので、他種目の専門部から協力を仰いで実施しており、大会を簡素化しなければいけないという状況である。

1 1 その他

第109回定期演奏会について

【口頭で説明】・・・木村委員

木村委員：2月4日13時半から市民会館大ホールにおいて、第109回定期演奏会を開催する。音楽協会に所属する全団体対象の演奏会になるので、よろしくお願ひしたい。

芸能文化まつりについて

【口頭で説明】・・・稲垣副委員長

稲垣副委員長：1月28日に文化協会と市民会館共済で芸能文化まつりが開催される。お楽しみ抽選会も企画している。よろしくお願ひしたい。

次回の社会教育委員会議について

【口頭で説明】・・・事務局柳井

午後4時30分閉会

令和5年度第4回

社会教育委員会議

日 時 令和5年12月12日（火）
午後2時30分～
場 所 袖ヶ浦市役所北庁舎3階中会議室

次 第

- 1 開会のことば
- 2 委員長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議 題
 - (1) 第39回生涯学習推進大会について
- 5 報告・連絡
 - (1) 袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について
 - (2) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について
 - (3) 令和5年度君津地方社会教育推進大会の開催について
 - (4) 各種事業の実施結果について
 - ・第52回袖ヶ浦市子どもスポーツ大会
 - ・第36回袖ヶ浦美術展
 - ・令和5年度市民会館・公民館まつり
 - ・秋の万葉こどもまつり
 - ・秋のトショロ月間
 - (5) 今後の事業の実施予定について
 - ・令和6年袖ヶ浦市二十歳を祝う会
 - ・新春マラソン大会
- 6 その他
- 7 閉会のことば

第 2 7 期袖ヶ浦市社会教育委員名簿

No.	氏 名	性別	選 出 区 分	備考
1	ひろなか くのにのり 弘中 邦典	男	学校教育（袖ヶ浦市小中学校長会）	2 期目
2	まつい きょうこ 松井 恭子	女	学校教育（袖ヶ浦市学校司書）	7 期目
3	にのみや よしふみ 二宮 義文	男	社会教育（袖ヶ浦市少年野球連盟）	12 期目
4	たなか ゆきお 田中 雪夫	男	社会教育（袖ヶ浦市子ども会育成会連絡協議会）	9 期目
5	はたけやま しんいち 畠山 真一	男	社会教育（袖ヶ浦市スポーツ協会）	2 期目
6	きむら いくこ 木村 育子	女	社会教育（袖ヶ浦市音楽協会）	7 期目
7	ありはら じゅん 在原 潤	男	社会教育（青少年相談員連絡協議会）	4 期目
8	こうの ゆういちろう 河野 裕一郎	男	社会教育（袖ヶ浦市 P T A 連絡協議会）	2 期目
9	いながき あきひこ 稲垣 昭彦	男	社会教育（袖ヶ浦市文化協会）	6 期目
10	きそ の まき 木曾野 真紀	女	家庭教育（保育ボランティアグループ ひよこの会）	1 期目
11	こいずみ やすし 小泉 康	男	学識経験者	4 期目
12	ささき まゆみ 佐々木 真由美	女	学識経験者	9 期目
13	なかやま まさき 中山 正紀	男	学識経験者	6 期目
14	にしだ たかし 西田 隆司	男	学識経験者	3 期目
15	おかだ やすし 岡田 康	男	学識経験者	3 期目

委員任期 令和 5 年 7 月 1 日から令和 7 年 6 月 3 0 日

令和5年度第4回

社会教育委員会議 資料

日 時 令和5年12月12日（火）

午後2時30分～

場 所 袖ヶ浦市役所北庁舎3階中会議室

目 次

次第4 議 題

- (1) 第39回生涯学習推進大会について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 ～ P 7

次第5 報 告 ・ 連 絡

- (1) 袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する
条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8 ～ P 1 0
※袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する
条例新旧対照表・・・・・・・・・・・・・・・・ 別冊
- (2) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について・ P 1 1 ～ P 1 4
- (3) 令和5年度君津地方社会教育推進大会の開催について・・・ P 1 5
- (4) 各種事業の実施結果について
- ・ 第52回袖ヶ浦市子どもスポーツ大会・・・・・・・・ P 1 6
 - ・ 第36回袖ヶ浦美術展・・・・・・・・ P 1 7 ～ P 1 9
 - ・ 令和5年度市民会館・公民館まつり・・・・・・・・ P 2 0 ～ P 3 6
 - ・ 秋の万葉こどもまつり・・・・・・・・ P 3 7 ～ P 3 8
 - ・ 秋のトショロ月間・・・・・・・・ P 3 9
- (5) 今後の事業の実施予定について
- ・ 令和6年袖ヶ浦市二十歳を祝う会・・・・・・・・ P 4 0
 - ・ 新春マラソン大会・・・・・・・・ P 4 1 ～ P 4 2

議題(1)第39回生涯学習推進大会について

第39回 袖ヶ浦市生涯学習推進大会 実行委員名簿

No.	選出区分	実行委員 (◎実行委員長 ○副実行委員長)	
		所属団体	名前(敬称略)
1	社会教育関係団体の代表	袖ヶ浦市PTA連絡協議会	高石 元気
2		袖ヶ浦市スポーツ協会	小沼 武志
3		袖ヶ浦市文化協会	藤巻 礼子
4		袖ヶ浦市子ども会育成会連絡協議会	友田 賢司
5		袖ヶ浦市ボーイスカウト育成会	若狭 めぐみ
6		ガールスカウト千葉県第87団育成会	笈川 真由美
7		袖ヶ浦市レクリエーション協会	小藤田 正義
8		袖ヶ浦市少年野球連盟	境屋 邦夫
9		袖ヶ浦市サッカー協会	春山 信之
10		袖ヶ浦市ターゲットバードゴルフ協会	中山 敏男
11		袖ヶ浦市音楽協会	早川 敦
12	学校教育関係者	千葉県立袖ヶ浦高等学校	米澤 成美
13		袖ヶ浦市小中学校長会	井関 徹太郎
14		蔵波台さつき幼稚園	栗原 正志
15	学識経験者	袖ヶ浦市社会教育委員	畠山 真一
16		袖ヶ浦市公民館運営審議会	鈴木 美恵子
17		袖ヶ浦市郷土博物館協議会	今井 恵子
18		袖ヶ浦市立図書館協議会	星野 裕司
19		袖ヶ浦市スポーツ推進委員協議会	永島 和彦
20		袖ヶ浦市青少年相談員連絡協議会	葛田 圭亮
21		袖ヶ浦市社会福祉協議会	伊藤 清貴
22	自治連関係者	袖ヶ浦市自治連絡協議会	渡邊 辰男
23	行政関係者	社会教育委員長	田中 雪夫

第39回袖ヶ浦市生涯学習推進大会実施要項

1. 趣旨

少子高齢化・都市化・情報化が進み、地域や人どうしの結びつきが希薄になりつつある昨今、以前のように他者と深く関わりながら生きていくことは、より困難になりつつあります。

流動化と孤立化に代表される社会変化の中では個人のニーズが重視される反面、つながり関わる中で生まれる“絆”は、人生をより豊かで生きがいのあるものに変えていく力を持っています。

袖ヶ浦市では、市内にある社会教育関係機関、団体、そして個人が緊密につながりあい、支えあいながら幅広く学習機会を提供しあうことで、人々が、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に活かされるような地域社会を目指しています。

このような中、生涯を通して学習することの意義について市民の理解を一層深めるとともに、学習意欲の向上と学習活動への参加の促進を図ります。

2. 大会テーマ

「学び つながり 支えあうまち そでがうら」

3. 主催 袖ヶ浦市社会教育委員 袖ヶ浦市教育委員会

4. 主管 袖ヶ浦市生涯学習推進大会実行委員会

5. 期日 令和6年2月10日（土）

6. 会場 袖ヶ浦市民会館 大ホール

7. 日程 12:30 ~ 13:00 受付

13:00 ~ 14:10 【第1部】

- (1) 開会のことば（袖ヶ浦市社会教育委員長）
- (2) 生涯学習奨励賞授与・市長あいさつ
- (3) 社会教育功労感謝状贈呈・教育長あいさつ
- (4) 来賓祝辞（県議会議員・市議会議員）
- (5) 実践発表
- (6) 閉会のことば（袖ヶ浦市生涯学習推進大会実行委員長）

～休憩・換気～

14:30 ~ 16:00 【第2部】

(7) 記念講演

（第42期・第2回市民三学大学講座）

演題：「気象に学ぶ～風災害と防災情報～」

講師：木原 実 氏（日本テレビお天気キャスター／気象予報士／防災士）

第39回 袖ヶ浦市生涯学習推進大会タイムスケジュール

進行2名（男女各1名 実行委員より選出）

【第1部】 予定時間 13:00～14:10（70分間）

1. 開会のことば（2分） 社会教育委員 委員長
2. 生涯学習特別奨励賞&奨励賞授与（25分） → 市長挨拶（4分）
 - ・授与 授与者：市長
（特別奨励賞・奨励賞→団体：賞状盾 個人：賞状メダルを贈呈）
 - ※介添え：副市長、生涯学習課長
 - ※受賞者紹介：進行
 - ・市長あいさつ
3. 社会教育功労感謝状贈呈（10分） → 教育長挨拶（4分）
 - ・贈呈 贈呈者：教育長
（賞状を贈呈）
 - ※介添え：教育部長
 - ※受賞者紹介：進行
 - ・教育長あいさつ
4. 来賓祝辞（8分）
 - ・県議会議員
 - ・市議会議員
5. 実践発表（15分）
6. 閉会のことば（2分） 生涯学習推進大会実行委員長

〔休憩・換気〕 14:10～14:30

【第2部】 予定時間 14:30～16:00（90分間）

7. 記念講演（市民三学大学講座）

演題：「気象に学ぶ～風災害と防災情報～」

講師：木原 実 氏（日本テレビお天気キャスター・気象予報士・防災士）

第39回 袖ヶ浦市生涯学習推進大会来賓・登壇等予定者

	NO	役職名	氏名	依頼事項	参加予定
来賓	1	千葉県議会議員	江野澤 吉克	登壇 来賓祝辞	
	2	袖ヶ浦市議会議長	榎本 雅司	登壇 来賓祝辞	
	3	袖ヶ浦市議会 文教福祉常任委員長	緒方 妙子	登壇	
	4	千葉県教育庁 南房総教育事務所長	内田 美之	登壇	
主催者側登壇等	5	袖ヶ浦市長	粕谷 智浩	登壇 奨励賞挨拶	
	6	袖ヶ浦副市長	花澤 一男	登壇	
	7	袖ヶ浦市教育長	御園 朋夫	登壇 感謝状挨拶	
	8	袖ヶ浦市教育委員会教育委員	中村 伸子	登壇	
	9	袖ヶ浦市教育委員会教育委員	高野 隆晃	登壇	
	10	袖ヶ浦市教育委員会教育委員	若林 洋子	登壇	
	11	袖ヶ浦市教育委員会教育委員		登壇	

主催者側（ステージ向かって左に登壇）		来賓側（ステージ向かって右に登壇）	
1	市長		県議会議員
2	副市長		市議会議長
3	社会教育委員長		南房総教育事務所長
4	教育長		文教福祉常任委員長
5	教育長職務代理者		
6	教育委員		
7	教育委員		
8	教育委員		
9	実行委員長		
10	副実行委員長		
11	教育部長		
12	教育部次長		

袖ヶ浦市生涯学習推進大会 案内依頼先

		①依頼文書の所属	②役職	③依頼文書の宛名	④R5依頼人数(案)
1	社会教育関係団体の代表	袖ヶ浦市PTA連絡協議会	会長	河野 裕一郎	60
2		袖ヶ浦市立昭和小学校PTA	会長	床井 章吾	5
3		袖ヶ浦市立奈良輪小学校PTA	会長	小林 祐紀	5
4		袖ヶ浦市立長浦小学校PTA	会長	平峰 虹人	5
5		袖ヶ浦市立蔵波小学校PTA	会長	早川 みどり	5
6		袖ヶ浦市立根形小学校PTA	会長	仲渡 知史	5
7		袖ヶ浦市立中川小学校PTA	会長	小林 博文	5
8		袖ヶ浦市立平岡小学校PTA	会長	長嶋 克浩	5
9		袖ヶ浦市立昭和中学校PTA	会長	早川 智	5
10		袖ヶ浦市立蔵波中学校PTA	会長	片山 英昭	5
11		袖ヶ浦市立根形中学校PTA	会長	山口 剛	5
12		袖ヶ浦市立平川中学校PTA	会長	重田 和則	5
13		袖ヶ浦市立長浦中学校PTA	会長	熊田 雅彦	5
14		袖ヶ浦市スポーツ協会	会長	稲毛 博夫	20
15		袖ヶ浦市文化協会	会長	稲垣 昭彦	20
16		袖ヶ浦市子ども会育成会連絡協議会	会長	田中 雪夫	10
17		袖ヶ浦市ボーイスカウト育成会	会長	出口 清	5
18		ガールスカウト千葉県第87団育成会	会長	武藤 光夫	5
19		袖ヶ浦市レクリエーション協会	会長	伊藤 和雄	5
20		袖ヶ浦市少年野球連盟	会長	大友 省三	10
21		袖ヶ浦市サッカー協会	会長	林 一賀	10
22		袖ヶ浦市音楽協会	会長	早川 敦	5
23		袖ヶ浦市ターゲット・バードゴルフ協会	会長	石渡 眞	5
24	学校教育機関	千葉県立袖ヶ浦高等学校	学校長	佐藤 啓之	1
25		袖ヶ浦市立昭和小学校	学校長	弘中 邦典	1
26		袖ヶ浦市立奈良輪小学校	学校長	小泉 憲治	1
27		袖ヶ浦市立長浦小学校	学校長	平川 眞	1
28		袖ヶ浦市立蔵波小学校	学校長	瀧澤 眞	1
29		袖ヶ浦市立根形小学校	学校長	小藤田 信明	1
30		袖ヶ浦市立中川小学校	学校長	粕谷 久恵	1
31		袖ヶ浦市立平岡小学校	学校長	柳井 美重子	1
32		袖ヶ浦市立昭和中学校	学校長	磯部 正史	1
33		袖ヶ浦市立長浦中学校	学校長	庄司 光利	1
34		袖ヶ浦市立根形中学校	学校長	井関 徹太郎	1
35		袖ヶ浦市立平川中学校	学校長	宮野 達也	1
36		袖ヶ浦市立蔵波中学校	学校長	鈴木 大介	1
37	諮問機関	袖ヶ浦市社会教育委員	委員長	田中 雪夫	15
38		袖ヶ浦市公民館運営審議会	委員長	齋藤 隆彦	12
39		袖ヶ浦市郷土博物館協議会	委員長	伊藤 誠	5
40		袖ヶ浦市立図書館協議会	委員長	吉村 真理子	5
41		袖ヶ浦市スポーツ推進委員協議会	会長	鈴木 和義	10
42	協力員	各館(市民会館、公民館、図書館)		社会教育関係機関の長	12
43		袖ヶ浦市郷土博物館	館長	西原 崇浩	3
44		袖ヶ浦市国際交流協会	会長	伊藤 誠	5
45		袖ヶ浦市青少年相談員連絡協議会	会長	江澤 将範	10
46		袖ヶ浦市シニアクラブ連合会	会長	高石 静江	5
47		袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会	会長	土屋 則子	5
48	各機関	市民会館	館長	大田 知司	20
49		平川公民館	館長	齊藤 秀夫	20
50		長浦公民館	館長	須田 紀子	20
51		根形公民館	館長	加藤 宏明	20
52		平岡公民館	館長	鹿嶋 章夫	20
53		中央図書館	館長	塩谷 利之	5
54		袖ヶ浦市自治連絡協議会	会長	西田 隆司	10
55		蔵波台さつき幼稚園		保護者会長	
56		袖ヶ浦桜ヶ丘幼稚園		保護者会長	
57		袖ヶ浦市立中川幼稚園		保護者会長	
			依頼総計	370	

(案)

袖ヶ浦市社会教育委員
令和 年 月 日

袖ヶ浦市社会教育委員
委員長 田中 雪夫 様

袖ヶ浦市社会教育委員
委員長 田中 雪夫

袖ヶ浦市教育委員会
教育長 御園 朋夫

第39回 袖ヶ浦市生涯学習推進大会の参加について (依頼)
寒冷の候、貴職におかれましては益々ご清祥のことと推察いたします。また、日頃より本市生涯学習の推進につきましてご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、このたび第39回生涯学習推進大会を別紙のとおり開催することになりました。
つきましては、ご多用の折に誠に恐縮に存じますが貴団体の皆様のご参加をお願い申し上げます。
なお、参加者名簿 (別紙) を作成し下記のとおりご提出下さいますよう併せてお願いいたします。

記

- 参加依頼人数 委員より15名
- 参加者名簿提出先及び問い合わせ先 袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課 (担当 小川)
(住 所) 袖ヶ浦市坂戸市場1-1
(電 話) 62-3743 直通ダイヤル
(FAX) 63-9680
- 参加者名簿提出締切日 **令和6年1月19日(金)**
- 受付について 当日、参加される方々は以下の場所で受付を行います。

(①～⑦で受付人数が大きく異なることのないように割り振らせて頂きました。)

標記	所属団体
①体育	スポーツ協会、少年野球連盟、サッカー協会、ターゲットバードゴルフ協会、レクリエーション協会
②文化	文化協会、ボーイスカウト、ガールスカウト、音楽協会、博物館友の会 市民学芸員、袖ヶ浦市国際交流協会
③学校	PTA連絡協議会、幼稚園保護者会、袖ヶ浦高等学校、市内小中学校
④地区	自治連絡協議会、袖ヶ浦市子ども会育成会連絡協議会、青少年相談員
⑤協議会 連合	シニアクラブ連合会、ボランティア連絡協議会、文化財審議会、公民館運営審議会、博物館協議会、図書館協議会、スポーツ推進委員協議会
⑥社教委	社会教育委員、社会教育推進員
⑦サークル 団体	市民会館、平川公民館、長浦公民館、根形公民館、平岡公民館、図書館 の各所属サークル及び団体

※来賓、感謝状・奨励賞受賞者、実践発表団体の受付は別になります。

第39回 生涯学習推進大会参加者名簿（1月19日提出締め切り）
所属名 []

1部13時～ 2部14:30～

NO	氏名	住所	連絡先	参加
例	袖ヶ浦 太郎	坂戸市場1-1	62-2111	1部・2部・全部
1				1部・2部・全部
2				1部・2部・全部
3				1部・2部・全部
4				1部・2部・全部
5				1部・2部・全部
6				1部・2部・全部
7				1部・2部・全部
8				1部・2部・全部
9				1部・2部・全部
10				1部・2部・全部
11				1部・2部・全部
12				1部・2部・全部
14				1部・2部・全部
15				1部・2部・全部
16				1部・2部・全部
17				1部・2部・全部
18				1部・2部・全部
19				1部・2部・全部
20				1部・2部・全部

ご提出ありがとうございました。

FAX可0438-63-9680

報告・連絡（１）袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について

議案第２号

袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する
条例の一部を改正する条例の制定について

袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例の一部を
改正する条例を別紙のように制定する。

令和５年１１月２９日提出

袖ヶ浦市長 粕谷 智 浩

提案理由

公民館施設を市民や市民活動団体等がより活用できるよう市長部局に移管するとともに、公民館の事業を引き続き教育委員会で管理・執行するため、条例の一部を改正しようとするものである。

袖ヶ浦市条例第 号

袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例（昭和49年条例第33号）の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

袖ヶ浦市公民館条例

第1条中「並びに地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項」、「並びに市民会館」及び「及び管理」を削る。

第2条第1項中「向上と福祉」を「振興及び社会福祉」に改め、「並びに市民会館」及び「袖ヶ浦市に」を削り、同条第2項中「並びに市民会館」を削る。

第3条を削り、第2条の2を第3条とする。

第6条から第19条までを削る。

第5条第2項中「社会教育法第29条第2項に規定するもののほか、市民会館の運営に関し教育委員会の諮問に応ずる」を「館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する」に改め、同条第4項ただし書中「ただし、」の次に「委員が欠けた場合の」を加え、同条を第6条とする。

第4条中「及び市民会館」を削り、「その他の職員を置く」を「を置き、その他必要な職員を置くことができる」に改め、同条を第5条とし、第3条の次に次の1条を加える。

（事業）

第4条 公民館は、社会教育法第22条（第6号を除く。）に規定する事業を行う。

2 公民館の事業は、袖ヶ浦市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が管理し、及び執行する。

第20条を第7条とする。

別表第 1 から別表第 3 までを削る。

附 則

この条例は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例新旧対照表

改正後	現 行
<p><u>袖ヶ浦市公民館条例</u> (趣旨) 第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号）第24条及び第30条第2項 _____の規定により、公民館_____の設置 等に関し必要な事項を定めるものとする。 (設置) 第2条 市は、社会教育の振興並びに市民の生活文化の<u>振興及び社会福祉</u> の増進を図るため、公民館_____を_____設置する。 2 公民館_____の名称及び位置は、次のとおりとする。</p>	<p><u>袖ヶ浦市公民館並びに市民会館の設置及び管理等に関する条例</u> (趣旨) 第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号）第24条及び第30条第2項並びに<u>地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項</u>の規定により、公民館<u>並びに市民会館</u>の設置及び管理等に関し必要な事項を定めるものとする。 (設置) 第2条 市は、社会教育の振興並びに市民の生活文化の<u>向上と福祉</u> の増進を図るため、公民館<u>並びに市民会館</u>を<u>袖ヶ浦市</u>に設置する。 2 公民館<u>並びに市民会館</u>の名称及び位置は、次のとおりとする。</p>
<p>略</p>	<p>略</p>
<p>(分館の設置) 第3条 _____ (略)</p> <p>(事業) 第4条 公民館は、社会教育法第22条（第6号を除く。）に規定する事業を行う。 2 <u>公民館の事業は、袖ヶ浦市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が管理し、及び執行する。</u> (職員)</p>	<p>(分館の設置) 第2条の2 (略) (管理) 第3条 <u>公民館及び市民会館の管理者は、袖ヶ浦市教育委員会（以下「教育委員会」という。）とする。</u> (職員)</p>

第5条 公民館_____に、それぞれ館長を置き、その他必要な職員を置くことができる。

(公民館運営審議会)

第6条 (略)

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する_____ものとする。

3 (略)

4 委員の定数は、12人以内とし、その任期は2年とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5・6 (略)

第4条 公民館及び市民会館に、それぞれ館長その他の職員を置く_____。

(公民館運営審議会)

第5条 (略)

2 公民館運営審議会は、社会教育法第29条第2項に規定するもののほか、市民会館の運営に関し教育委員会の諮問に応ずるものとする。

3 (略)

4 委員の定数は、12人以内とし、その任期は2年とする。ただし、_____補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5・6 (略)

(事業)

第6条 公民館及び市民会館は、社会教育法第22条に規定する事業のほか、公共の福祉増進のための施設の提供に供する事業を行う。

(使用の許可)

第7条 公民館並びに市民会館の施設及びその附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可には、公民館及び市民会館の管理上必要な条件を付することができる。

(使用の制限)

第8条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、公民館及び市民会館施設等の使用を許可しないことができる。

(1) その使用が公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。

(2) その使用が公民館及び市民会館の設置の目的に反すると認められ

るとき。

(3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。

(4) その他公民館及び市民会館の管理上支障があると認められるとき。

(使用の許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、第7条の規定による使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が次の各号の一に該当する場合は、その使用を制限し、又はその許可を取り消し、若しくは停止することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 第7条第2項の規定による使用の条件に違反したとき。

(3) 前条各号のいずれかに該当するとき。

(4) 虚偽の申請その他不正の手段により使用の許可を受けた事実が明らかとなったとき。

(5) その他公民館及び市民会館の管理上支障があると認められるとき。

2 前項の規定により使用者において損害を生ずることがあっても教育委員会は、その賠償の責を負わない。

(使用期間)

第10条 公民館及び市民会館は同一使用者が同一施設を引き続き3日以上にわたって使用することはできない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるとき、又は公民館及び市民会館の管理上支障がないと認めるときは、この限りでない。

(目的外使用、権利譲渡等の禁止)

第11条 使用者は、許可を受けた目的以外に公民館及び市民会館を使用

し、又はその権利を譲渡し、若しくは転貸することができない。

(模様替え等)

第12条 使用者が公民館及び市民会館の使用に際しこれを模様替えし、又は設備等を附加しようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

(原状回復)

第13条 使用者は、その使用を終了したとき（第9条の規定により使用について制限又は許可の取り消し、若しくは停止があったときを含む。）は、直ちに原状に復さなければならない。

2 使用者が、前項に規定する義務を履行しない場合においては、教育委員会が執行し、その費用を使用者から徴収する。

(損害賠償)

第14条 使用者は、公民館及び市民会館の施設等を損傷し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(使用料)

第15条 使用者は、別表第1、別表第2及び別表第3に定める使用料を納入しなければならない。

(使用料の徴収)

第16条 使用料は、使用の許可と同時に徴収する。

2 国又は地方公共団体その他これに類する団体に使用許可した場合は、前項の規定にかかわらず、別に納期を指定して徴収することができる。

(使用料の減免)

第17条 教育委員会が特に認めるときは、第15条の使用料の額を減額し、又はその使用料の額を免除することができる。

(使用料の不還付)

(委任)
第7条 (略)

第18条 既に徴収した使用料は還付しない。ただし、次の各号の一に該当するときには、使用料の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 天災地変その他使用者の責によらない理由により使用ができなかったとき。
- (2) 教育委員会が公用又は公共用その他やむを得ない理由により使用を取り消し、又は使用を中止したとき。
- (3) 使用者が使用期日の7日前までに使用の取消しを申し出たとき。
(販売行為等の禁止)

第19条 公民館並びに市民会館及びその敷地内において物品の販売その他これに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けて行う場合は、この限りでない。

(委任)

第20条 (略)

別表第1 (第15条関係)

市民会館

区分	午前9時から午後5時まで	午後5時から午後9時まで
	で1時間につき	で1時間につき
1階		
会議室	340円	370円
研修室	230円	350円
調理実習室	650円	910円
和室1	230円	350円
和室2	230円	350円
大ホール (楽	5,740円	8,620円

屋1・2、ホワイエ等含む。)		
大ホール（舞台のみを使用する場合)	1,720円	2,580円
2階		
会議室1	340円	370円
会議室2	340円	370円
講義室	340円	370円
和室	230円	350円
研修室	650円	910円
3階		
中ホール	1,230円	1,840円
レストラン（厨房、パントリー、倉庫、パッケージ室含む。)	1月につき 215,000円	
平川公民館		
区分	午前9時から午後5時まで で1時間につき	午後5時から午後9時まで で1時間につき
1階 体育室	1,840円	2,760円

<u>会議室</u>	<u>340円</u>	<u>370円</u>
<u>多目的室</u>	<u>650円</u>	<u>910円</u>
<u>2階</u>		
<u>視聴覚室</u>	<u>650円</u>	<u>910円</u>
<u>会議室1</u>	<u>230円</u>	<u>350円</u>
<u>会議室2</u>	<u>230円</u>	<u>350円</u>
<u>保育室</u>	<u>230円</u>	<u>350円</u>
<u>和室</u>	<u>340円</u>	<u>370円</u>
<u>調理実習室</u>	<u>650円</u>	<u>910円</u>

長浦公民館

<u>区分</u>	<u>午前9時から午後5時まで 1時間につき</u>	<u>午後5時から午後9時まで 1時間につき</u>
<u>1階</u>		
<u>多目的ホール</u>	<u>1,230円</u>	<u>1,840円</u>
<u>多目的室</u>	<u>650円</u>	<u>910円</u>
<u>2階</u>		
<u>会議室1</u>	<u>340円</u>	<u>370円</u>
<u>会議室2</u>	<u>340円</u>	<u>370円</u>
<u>和室1</u>	<u>230円</u>	<u>350円</u>
<u>和室2</u>	<u>230円</u>	<u>350円</u>
<u>創作室</u>	<u>340円</u>	<u>370円</u>
<u>視聴覚室</u>	<u>650円</u>	<u>910円</u>
<u>調理実習室</u>	<u>650円</u>	<u>910円</u>
<u>研修室1</u>	<u>340円</u>	<u>370円</u>

研修室 2	340円	370円
根形公民館		
区分	午前9時から午後5時まで で1時間につき	午後5時から午後9時まで で1時間につき
<u>1階</u>		
<u>野外ステージ</u>	650円	910円
<u>多目的ホール</u>	1,230円	1,840円
<u>2階</u>		
<u>会議室</u>	340円	370円
<u>講義室</u>	340円	370円
<u>研修室</u>	340円	370円
<u>和室</u>	230円	350円
<u>アトリエ</u>	340円	370円
<u>調理実習室</u>	650円	910円
<u>視聴覚室</u>	650円	910円
平岡公民館		
区分	午前9時から午後5時まで で1時間につき	午後5時から午後9時まで で1時間につき
<u>1階</u>		
<u>多目的ホール</u>	1,230円	1,840円
<u>会議室</u>	230円	350円
<u>2階</u>		
<u>会議室 1</u>	340円	370円

会議室 2	340円	370円
和室	340円	370円
研修室	650円	910円
調理実習室	650円	910円
視聴覚室	650円	910円

平川公民館富岡分館

区分	午前9時から午後5時まで で1時間につき	午後5時から午後9時まで で1時間につき
多目的ホール	1,230円	1,840円
会議室	340円	370円
和室	340円	370円
調理実習室	650円	910円

備考

- 1 使用料は、1時間当たりの使用料（以下「単位使用料」という。）に使用時間数を乗じて算定する。
- 2 本市の住民でない者（本市に存する事業所等に勤務する者を除く。）が使用する場合の単位使用料は、規定使用料の5割に相当する額を加算した額とする。
- 3 使用者が入場料その他これに類する料金を徴収する場合の単位使用料は、前2項の単位使用料に規定使用料の5割に相当する額を加算した額とする。
- 4 単位使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、その都度これを切り捨てる。
- 5 使用時間が1時間未満の場合は、1時間とみなす。

6 6月1日から9月30日までは、「午後9時」を「午後9時30分」とする。

別表第2（第15条関係）

体育室又は多目的ホールをアマチュアスポーツとして使用する場合（冷房又は暖房を使用しない場合に限る。）

施設区分		午前9時から午後5時まで1時間につき	午後5時から午後9時まで1時間につき
平川公民館	体育室（全面）	530円	680円
	体育室（半面）	260円	340円
長浦公民館	多目的ホール	280円	390円
根形公民館			
平岡公民館			
平川公民館富岡分館			

備考

- 1 使用料は、1時間当たりの使用料（以下「単位使用料」という。）に使用時間数を乗じて算定する。
- 2 本市の住民でない者（本市に存する事業所等に勤務する者を除く。）が使用する場合の単位使用料は、規定使用料の5割に相当する額を加算した額とする。この場合において、10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。
- 3 使用時間が1時間未満の場合は、1時間とみなす。
- 4 6月1日から9月30日までは、「午後9時」を「午後9時30分」とする。

分」とする。

別表第3（第15条関係）

附属設備使用料

品名	単位	使用料 (1時間につき)
<u>ピアノ</u>	<u>1台</u>	<u>440円</u>
<u>エレクトーン</u>	<u>1台</u>	<u>440円</u>
<u>第1ボーダーライト</u>	<u>1式</u>	<u>890円</u>
<u>第1サスペンションライト</u>		
<u>第2ボーダーライト</u>		
<u>第2サスペンションライト</u>		
<u> Horizontライト</u>		
<u>シーリングライト</u>		
<u>フロントサスペンションライト</u>		
<u>フットライト</u>	<u>1台</u>	<u>130円</u>
<u>ステージスポットライト</u>	<u>1台</u>	<u>40円</u>
<u>レコードプレーヤー</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>テープレコーダー</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>マイクロホン</u>	<u>1本</u>	<u>80円</u>
<u>16ミリ映写機</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>スライド映写機</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>ビデオプロジェクター</u>	<u>1台</u>	<u>440円</u>
<u>ビデオデッキ</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>CDプレーヤー</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>

<u>CD・MDプレーヤーコンポ</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>DVDプレーヤー</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>LDプレーヤー</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>ブルーレイレコーダ</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>スクリーン</u>	<u>1面</u>	<u>70円</u>
<u>反響板</u>	<u>1式</u>	<u>520円</u>
<u>三点吊りマイク</u>	<u>1式</u>	<u>440円</u>
<u>拡声装置</u>	<u>1台</u>	<u>220円</u>
<u>大ホール拡声装置</u>	<u>1式</u>	<u>520円</u>
<u>ステージスピーカー</u>	<u>1式</u>	<u>130円</u>
<u>はね返りスピーカー</u>	<u>1式</u>	<u>50円</u>
<u>チェロ</u>	<u>1台</u>	<u>440円</u>
<u>コントラバス</u>	<u>1台</u>	<u>440円</u>
<u>クラリネット</u>	<u>1本</u>	<u>440円</u>
<u>オーボエ</u>	<u>1本</u>	<u>440円</u>
<u>ファゴット</u>	<u>1本</u>	<u>440円</u>
<u>チューバ</u>	<u>1台</u>	<u>440円</u>
<u>シンバル</u>	<u>1組</u>	<u>440円</u>
<u>ティンパニー</u>	<u>1台</u>	<u>440円</u>
<u>指揮者台</u>	<u>1台</u>	<u>20円</u>
<u>指揮者用譜面台</u>	<u>1台</u>	<u>20円</u>
<u>譜面台</u>	<u>1台</u>	<u>10円</u>
<u>平台</u>	<u>1枚</u>	<u>30円</u>

大ホール講演台	1台	130円
屏風	1双	260円

附属設備使用料その2

品名	単位	使用料 (1回当たり)
陶芸窯 (素焼き)	1台	1,000円
陶芸窯 (本焼き)	1台	2,000円

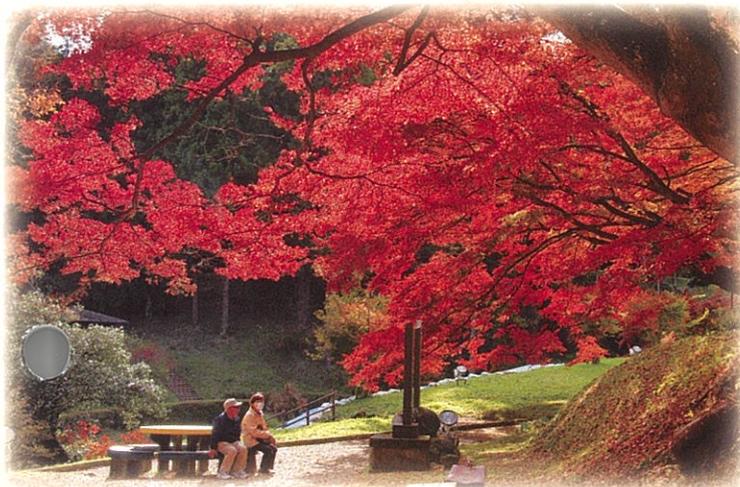
備考

- 1 平台には箱足、開足を含む。
- 2 大ホール講演台には司会者台、花台を含む。
- 3 使用時間が1時間未満の場合は、1時間とみなす。

報告・連絡(2)
第54回関東甲信越静社会教育
研究大会栃木大会について

第54回

関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会



今、改めて考える「ふれあい」をとおした
つながりづくり・地域づくり
～ウェルビーイングの実現に向けた
社会教育委員の役割～



令和5(2023)年11月21日(火)～22日(水)

会場：栃木県宇都宮市



第4分科会

会場：ホテルニューイタヤ 天平の間

<テーマ>

地域資源を生かす社会教育の取組

【発表者】

高橋 栄二 氏(富津市社会教育委員会議委員長)

伊藤 伸久 氏(富津市教育委員会事務局生涯学習課社会教育主事)

図書館のない市に図書館ができた！

～公民館カフェから飛び出す市民との協働～

小堀 秀一 氏(高根沢町社会教育委員長)

斎藤 洋一 氏(高根沢町教育委員会事務局生涯学習課係長)

未来につながる 人づくり まちづくり

～青少年の健全育成に向けた取組～

【助言者】

大野 隆司 氏(足利大学工学部准教授)

1980年茨城県下妻市生まれ。2003年東京理科大学理工学部建築学科を卒業後、同大学大学院に進学。在学中の2009年に一級建築士事務所オオノ・ヨシオカ・アーキテクツを共同主宰。2011年同大学大学院理工学研究科建築学専攻博士課程満期退学。2012年学位取得、博士(工学)。2012年から東京理科大学・小布施町まちづくり研究所副所長、2015年インド、チトカラ大学建築都市スクール教授を経て、2019年より現職。一級建築士。専門は西洋近代建築・都市史・まちづくり。

2016年、東京理科大学・小布施町まちづくり研究所の活動「ワークショップによる地域性の体験的学習と創生」で日本建築学会教育賞(教育貢献)を受賞。

2022年より足利市まちづくり推進会議(議長)、2023年より桐生市の景観審議会、都市計画審議会、伝統的建造物群保存地区保存審議会、太田市の開発審査会の委員を務める。



図書館のない市に図書館ができた！

～公民館カフェから飛び出す市民との協働～

高橋 栄二（富津市社会教育委員会議委員長）

伊藤 伸久（富津市教育委員会事務局生涯学習課社会教育主事）

1 富津市について

令和3（2021）年に市制施行50周年を迎えた富津市は、千葉県の南房総・君津地区、東京湾の入口にあり、200km²ほどの市域に、約4万人が暮らしている。温暖な気候と温和な人柄を重ね合わせ、来訪者を温かく迎え入れる意味を込めた「あったかふつつ」が市のキャッチフレーズとなっている。

(1) ふつつにあった地域資源

40kmに及ぶ海岸線のほぼ中央にある東京湾観音や、丘陵部マザー牧場が有名な富津市だが、北部の東京湾に突き出た富津岬や、その付け根に分布する古墳群が知られており、中でも内裏塚古墳は、南関東で最大の墳丘規模を誇る。そして、市域南端、かつての上総（かずさ）国と安房（あわ）国を隔てる鋸山は、鋸南町との共同申請により、日本遺産候補地域に認定されている。

(2) ふつつになかった社会教育施設

①博物館 海、山、史跡等、歴史的景観に溢れているにもかかわらず、博物館がない。そこで、平成13（2001）年から、富津岬近くの公民館の一室に、旧石器時代から近代までの出土遺物などを高密度で展示し、公開している（「ふるさと展示室」）。

②図書館 平成5（1993）年に「富津市図書館基本計画：旧第2庁舎改修計画」を策定し「図書館建設準備室」を設置するも、平成7（1995）年1月の阪神淡路大震災以降の耐震基準の見直しにより計画は白紙に。それ以降も計画検討が何度か立ち上がっては消えていた。

(3) 富津市の図書施設

①移動図書館 昭和56（1981）年、千葉県の「ひかり号」を譲り受け「さくら号」として巡回を始める。初の司書が配置された昭和61（1986）年に2代目、平成20（2008）年度電源立地地域対策交付金で3代目に更新。

②中央公民館図書室 昭和59（1984）年、開館後12年の視聴覚室・映写室を改修

③富津公民館図書室 昭和59（1984）年竣工

④市民会館図書室 平成元（1989）年竣工

2 図書でつながる

(1) 社会教育委員会議の活動

社会教育委員の職務を遂行するための研修の必要性を感じた委員からの提案で、平成27（2015）年度から自主研修会を開始。特に意見が多かった図書施設については視察も実施。

平成28（2016）年度は、図書部会と推進計画部会を設け、より詳細に検討。

※富津市の図書施設は、小規模ながら毎年資料増加量は規模相応だが、職員数が不足し、整理が追いつかず、古い図書が溢れる状況が浮き彫りに。

合同部会（平成29（2017）年2月）

「富津市における図書館整備計画について 平成5年[既存施設利用]、平成22年[複合施設]の計画(案)や、平成25年[商業施設内]の構想作成に携わった元職員の話聴き、意見交換。「まず今ある図書室を十分に活用しよう」「図書という一部をやることによって、それに引っ張られるようにして、全体も進む。」との提言が示された。

(2) あるものを活用して

①図書ボランティア

平成 29(2017)年 6 月、インターンシップの高校生の力を借り、移動図書館倉庫の蔵書整理から始めた。20 年以上累積して身動きが取れない状態も 1 日で解消したため、市民会館図書室の整理も実施でき、人数の力のすごさを改めて実感した。次は中央公民館で、と考えていたところ、「図書室を整理したいんですけど…」と電話があった。ちょうど、人の力が欲しいがどうすれば良いのか悩んでいたところだった。

社会教育関係者や読み聞かせサークルにも呼びかけ、公民館と共同で「富津市図書ボランティア」を発足させた。本のクリーニングや整頓などの作業は随時実施することや、使われなくなった蔵書を除籍して利用しやすい図書室にしていくことなどが決まった。閲覧室を児童書の部屋にする案が出され、職場体験の中学生の力も借りて整理作業が始まった。

②図書リサイクル会/公民館カフェ

除籍作業を進めるなか、社会教育委員と、子育て世代のグループから、除籍した本を処分する前に市民に公開して、持って行ってもらえる機会をつくりたいという提案があり、年度末に公民館で「図書リサイクル会」を実施することになった。

また、生活の中で図書に親しめる環境や「自分たちの居場所」が欲しいという思いから、子育て世代を中心とするグループ「nigiwai (ニギワイ)」が生まれ、レイアウトも含めた図書室改修から、やがて公民館全体の整理・改善へと進み、更に地元の福祉施設や各種団体と連携しながら、フリーマーケットを含む「公民館カフェ」を開催することになった。

「自分たちの…」がいつしか「あるものを使いこなしてみんなの居場所に」と、地

域住民がつながることを目指した取組となり、「nigiwai プロジェクト ～公民館で繋がる～」として、平成 30(2018)年度の「ちばコラボ大賞(千葉県知事賞)」を受賞した。

nigiwai が、ボランティア活動を多方面に展開する一方で、宝物のような読書体験を子どもたちにといい、本や図書施設をめぐる思いを重ねられる場として、令和 3(2021)年 8 月、「こどもと本を結ぶ会」(略称「こむすび(の会)」)が発足した。

3 機能としての図書館から市民の図書館へ

整理がすすむと、図書室の利用者も増え、平成 21(2009)年をピークに減り続けていた利用冊数等の数値はV字回復をみせた。過去最高値を更新する寸前で台風・コロナ禍による休止を余儀なくされたが、市民の熱が伝わったかのように、令和 2(2020)年 2 月、念願の図書施設のネットワーク化が実現した。既存の施設を繋いで、全体としてひとつの図書館のように機能させることが可能になった。

それでもやはり本館機能をもつ図書館がないことによるサービス提供の限界が見えてきたところで、イオンモールからの打診に応じることとなった。開館までの期間や金額等、これならできると思い決断したと市長は述べたが、図書を巡る市民の盛り上がりは後押ししたのかもしれない。そして令和 5(2023)年 4 月、イオンモール富津内に市立図書館が開館した。初日と 2 日目、あわせて 4800 人近くの来館者を迎え、館外のオープンスペースでは、こむすびの会のサークルや子どもたち、指定管理者、市の司書らによる「おはなし会」がオープニングイベントとして催された。



nigiwai (fb)

富津市立図書館 HP



富津市 HP

報告・連絡（3）令和5年度君津地方社会教育推進大会の開催について

第58回君津地方社会教育推進大会開催要項（案）

1. 趣 旨

※趣旨及び大会テーマ 現在調整中

2. 主 催 君津地方社会教育委員連絡協議会

3. 後 援 君津地方4市教育委員会

4. 期 日 令和6年1月28日（日） 午後1時30分～4時頃

5. 会 場 日本製鉄（株）東日本製鉄所君津地区コミュニケーションホール

住所：木更津市築地1-1

電話：0439(50)2571

6. 日 程

13:00～13:30 受 付

13:30～14:30 開会行事

- ① 開会の言葉
- ② 主催者あいさつ
- ③ 表彰状贈呈
- ④ クローバー賞贈呈
- ⑤ 来賓祝辞

14:30～15:30 記念講演会

※演題及び講師 現在調整中

15:30～15:40 閉会行事

報告・連絡（４）各種事業の実施結果について

第５２回袖ヶ浦市子どもスポーツ大会実施報告書

日 時 令和５年１０月２８日（土）１０時００分～１５時４５分

場 所 百目木公園（野球場・ソフトボール場）

来 賓 袖ヶ浦市 粕谷 智浩 市長
袖ヶ浦市教育委員会 御園 朋夫 教育長
社会福祉協議会 小島 直子 会長

出席者 グラウンドゴルフ大会参加者
参加児童 70名
青少年相談員 44名
袖子連役員 14名
平川公民館・長浦公民館・根形公民館 各1名
生涯学習課 6名
計 137名

内 容 熱中症対策のため、開催時期を秋にずらし、昨年度と同様にグラウンドゴルフを行った。
表彰については、1位から3位は学年ごとに表彰を行い、その他飛び賞については、低学年の部・高学年の部といった部門別表彰を行った。

その他 2名の看護師に依頼。傷病者なし。
表彰式に出られず、賞品を受け取れなかった参加者には学校を通して後日渡した。

○第36回袖ヶ浦美術展（生涯学習課文化振興班）

日 時：令和5年11月15日（水）～11月26日（日）（会期12日間）
会 場：根形公民館
多目的ホール（絵画・書道）、視聴覚室（工芸）、講義研修室（写真）
出 品 数：合計153点（前回比▲2）
絵画 50点（前回比▲3）
書道 37点（前回比▲1）
工芸 36点（前回比▲1）
写真 30点（前回比+3）
参加者数：2,758人（前回比+128）

ギャラリートーク（コロナ禍の影響により、4年ぶりの開催となります）

日 時：11月25日（土）10時～12時（受付9時30分から）
※入場無料・申込み不要
会 場：根形公民館各展示室
講 師：絵 画：中島敏明氏
書 道：辻元大雲氏
工 芸：飯塚勝康氏
写 真：山口秀輝氏
参加者数：186人

○絵画ワークショップ（今回、初めての試みとなります）

日 時：11月25日（土）13時00分～16時
会 場：根形公民館アトリエ
参 加 者：小学生20名
講 師：中島敏明氏（美術展絵画部門顧問）、美術展実行委員（絵画部門）
内 容：4グループに分かれ、スプレーや絵の具でそれぞれ1つの作品を仕上げ、最後に完成した4作品を1枚の大きな作品にまとめた。
完成した作品に対して講師が講評を述べるとともに、参加者が感想を伝えあった。



ギャラリートーク（絵画）



ギャラリートーク（書道）



ギャラリートーク（工芸）



ギャラリートーク（写真）



ワークショップ講師指導風景



ワークショップ作業風景①



ワークショップ作業風景②



ワークショップ参加者感想発表風景



ワークショップ完成作品（4グループの作品を合体）

第36回市民会館まつり実施報告書

開催日：令和5年11月4日(土)・5日(日)

会 場：市民会館

来館者：4,344人(1日目 2,641人、2日目 1,703人)

【展示の部】

No.	展 示 名	出品数等	備 考
1	子ども作品展	147点	昭和小学校 60点
			奈良輪小学校 56点
	書道の部		昭和中学校 21点
			袖ヶ浦高校 10点
	絵画の部 工作の部	633点	福王台保育所 113点
			認定こども園まりん 58点
			大空保育園 74点
			ユーカリ保育園 45点
			スクルドエンジェル保育園神納園 77点
			スクルドエンジェル保育園望海園 82点
			昭和小学校 88点
			奈良輪小学校 96点
2	書道・短歌・俳句展	52点	袖書会 16点
			翠書会 10点
			さわらび短歌会 13点
			袖ヶ浦俳壇 13点
3	ブラジル展	50点 6面	ブラジルの紹介動画、代表的な料理やポルトガル語の紹介掲示、姉妹都市イタジャイ市との交流報告、物産品等展示、コーヒー提供
4	主催事業紹介展等	7面	市民会館 6面
			消防予防課 1面
5	団体活動展示	50点	子どもるーぷ袖ヶ浦 1面
			こども館・ファミリーサポートセンター 2面
		13面	椎の森里山会 50点
			10面
合 計		932点 26面	

【催し物の部】

No.	催し物名	販売・参加者数等実績	備考
1	おまつり広場等	2,295個	綿あめ、かき氷 1,212個 焼きそば 626個 ラムネ 100本
		100本	牛乳寒天 40個
		78杯	汁粉 78杯 野菜 417個
		1,718人	縁日コーナー 732人 軽スポーツ(けん玉・アックススロー等) 500人 竹とんぼづくり・販売 44人 バスの乗り方教室 42人 消防ブース 400人
		2,658kg	古紙回収 2,430kg ペットボトルキャップ回収 48kg 使用済小型家電回収 180kg
2	子どもの広場	580人	木の実・葉っぱ工作等 280人 紙コップ遊び等 300人
3	音楽の広場	1,256人	奈良輪小学校 275人 昭和小学校 330人 袖ヶ浦市ジュニアオーケストラ 152人 袖ヶ浦高校吹奏楽部 178人 ドレミハーモニカクラブ 42人 袖ヶ浦フォークダンス白ゆり 45人 アロハリリーズ 80人 メレラナ・フラ・スタジオ 98人 サークルすずらん 56人
4	中ホール棟	1,120人	お茶会 80人 ヨガ体験 2人 将棋対局 58人 折り紙講習会 40人 紙コップ工作講習会 32人 アートバルーン講習会 89人 親子で簡単工作 148人 読み聞かせ 87人 ガウラの古着屋さん 304人 ブラジル展 260人 ダンスフェスティバル 20人
合計		2,295個	
		100本	
		78杯	
		4,674人	おまつり広場・子どもの広場・音楽の広場 ・中ホール棟の参加・観覧者実績
		2,658kg	古紙・ペットボトル・使用済小型家電の回収重量実績

チラシ配布協力団体延べ団体・人数 12団体・28人

- | | | | |
|-------------|----|-------------|-----|
| ・太極拳同好会 | 1人 | ・椎の森里山会 | 2人 |
| ・Teneroオカリナ | 2人 | ・レクリエーション協会 | 2人 |
| ・女性合唱団カリヨン | 1人 | ・カントリーダン袖ヶ浦 | 1人 |
| ・翠書会 | 2人 | ・着付け教室あやめ | 2人 |
| ・アロハリリーズ | 2人 | ・袖書会 | 1人 |
| ・サークルすずらん | 2人 | ・社会教育推進員 | 10人 |

第36回市民会館まつり反省事項

	実行委員の意見等
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2日目の消防車見学を楽しみに家族で行ったのですが、あいにく既に終了してしまったようで写真を取ることができませんでした。終了時間が決まっていたのであればチラシなどに明記しておいていただくと子どもを連れていく目安になりますのでご検討いただくと幸いです。 ・当日配布された館内案内図で2階フリースペースと2階ホワイエがつながっているように見えてわかりづらかったです。 ・市民会館駐車場及び市営球場駐車場が満車となった後、旧職員住宅駐車場への交通誘導員の配置が遅く、現場は混乱していた。交通誘導員の配置や満車後の対応について、見直しや再確認をお願いしたいです。
展示の部	<ul style="list-style-type: none"> ・らせん階段に人が渋滞していて、3階の書道等のコーナーが閑散としていたため、渋滞防止策を工夫し、3階への誘導も必要と思います。なお、書道の子も作品はホワイエに集約し、他の公作品と一緒に鑑賞できればと思います。 ・大ホールホワイエ2階ホワイエに昭和小・奈良輪小の子どもたちの作品展示は明るくて見やすかったと思います。今、学校ではこのような作品作りをしているんだとわかって良かったです。
（おまつり物の部） 催し物の部	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に模擬店が少なく、2日目に焼きそばがなくて残念でした。また、キッチンカーは良かったものの、子どもが買える値段での模擬店がもっとほしいです。 ・模擬店の商品の出来上りを放送にて来客に知らせることができると良いなと思いました。 ・竹とんぼ等今のお子さんが知らない昔の手作りおもちゃを体験できる場は少ないと思うので、お年寄りとのふれあいの場にもなりますし、とても良い取り組みだと思います。 ・外の食事スペースは2張は良かったです。ただし、レクゲームの場所が思ったより狭く、会場の広さに合わせてゲームを考えました。
（音楽の部） 催し物の部	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールでの発表中はホワイエに音を流せると、来館者が興味を持って観客として呼び込めるのではないかと思います。 ・今回も初日と2日目の来場者数にかなり差があったのでプログラムの内容の再考が必要かと思います。出演団体で検討の必要がある。 ・大ホールの出演日程や時間がもう少し早く周知できると良いと思います。
（中ホール棟） 催し物の部	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会や子どもの広場では、工作などで同じようなものがあり、優劣が出来てしまうということに残念さを感じました。事前に内容が被らないように調整してほしい。 ・ガウラの古着屋さんはTVでも見ましたが、素晴らしい取り組みだと思います。 ・久しぶりのお茶会でたくさんの方々にお越しいただけて良かったです。以前よりも茶道に関心を持っている方も多くなり、飲み方の作法など聞く方も増えました。和菓子がいつものお店で調達できず残念でした。

総括(良かった点、改善すべき点など)

<p>【良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロビーに案内板を設置するとともに、公式ガイドチラシ(アンケート付)を配布することで、来館者に丁寧なご案内をすることができたと思います。 ・まつりのオープニングで市民会館利用者にご出演いただき、日頃の練習の成果を発表していただくとともに、華やかなオープニングになったのではないかと思います。 ・あじの会による模擬店、茶道サークル「憩」によるお茶会、袖ヶ浦ダンスサークルと袖ヶ浦市ダンス愛好会によるダンスフェスティバルがコロナ前から4年ぶりに復活して盛況であったことや、新しくヨガ体験を組み入れるなど、各サークル団体等の活発化に繋げるきっかけ作りが出来たことは良かったと思います。 <p>【改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内板やチラシに一部曖昧な表現があったことにより、目的のものが見れなかったり、参加できなかったという方がいらしたため、実施時間が決定しているものは掲載したいと思います。 ・書道等の展示場所や大ホール発表のプログラムを第1回実行委員会後などに該当団体から希望を伺い、早めに調整が図れるとその後のチラシ作成や周知がスムーズに行くと思いました。 ・模擬店メニューは当日調理で提供できるものを基本としますが、お子さんだけで来てくれた場合に手軽でお求めやすい模擬店を増やしたいので、各団体に呼びかけを行っていききたいと思います。 ・市民会館及び市営球場の駐車場が満車となった後、旧職員住宅駐車場への交通誘導員の配置が遅く、現場を混乱させてしまったので、交通誘導員の配置や満車後の対応について、事前にしっかり打合せを行い、共通認識を持って誘導にあたれるようにしていきたいです。 <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体としては前回は上回る方々に来館いただき、大きなトラブルやけが人等を出すこともなく、無事終了されたことが一番だと思っています。その中で前回の反省を生かした点や改善すべき点を整理し、また次回につなげていきたいです。市民会館まつりがサークル団体等はもとより、地域住民により一層お越しいただけるよう、事務局と参加団体が一丸となって取り組んでいけるよう、日常の関係作りから大切にしていきたいです。

第35回平川公民館まつり実施報告書

開催日: 令和5年11月18日(土)・19日(日)

会 場: 平川公民館

来館者: 2, 574人(1日目 857人、2日目 1, 717人)

【展示の部】

No.	展 示 名	出品数等	備 考	
1	1階多目的室	119点	トールペイント平川	54点
			トールペイント	13点
			短歌	14点
			書道	8点
			和風	2点
			活動紹介	8点
			書道	6点
			写真	14点
2	2階視聴覚室	236点	一般	56点
			一般	55点
			一般	48点
			一般	75点
			一般	2点
3	ロビー等	5面	吉野田保育所	1面
			中富ふれすぽクラブ	4面
合 計		360点		

【催し物の部】

No.	催し物名	販売・参加者数等実績	備考	
1	おまつり広場	4,948個	JA君津袖ヶ浦女性部(太巻きずし、野菜販売、加工品販売)	285個
			どんどんやきそばつるおか(焼きそば、いか焼き他)	1,600個
			青少年相談員(フランクフルト、綿あめ、焼き鳥他)	1,668個
			袖ヶ浦商工会女性部(スーパーボールすくい、チョコバナナ、糸引きあめ、輪投げ)	600個
			ツバッキー(タピオカドリンク、アイス、井物、アメリカンドッグ、から揚げ他)	195個
			八天堂きさらづ(くりむパン)	171個
			亜Lo波(わらび餅ドリンク)	269個
			シルバー人材派遣センター(花ポット)	160個
2	喫茶コーナー	162個	社会教育推進員(ケーキ、飲み物)	162個
3	芸能発表会	102人	平川ハワイアンフラサークル	12人
			あじさいカラオケ	3人
			養生功倶楽部	7人
			なかよし歌仲間	4人
			すずらんの会	4人
			コスモスダンスサークル	8人
			中川小学校合唱部	64人
4	演奏発表	10人	蔵波台ギターアンサンブル	
5	演奏発表	96人	袖ヶ浦市ジュニアオーケストラ	
6	演奏発表	6人	NPO法人ひこうき雲	
7	体験会	584人	吹き矢	97人
			大道芸	112人
			ボッチャ・モルック	55人
			作って遊ぼう! 簡単おもちゃ	24人
			フワフワガウラ	296人
8	講習会	100人	凧作り講習会	10人
			きらきらペットボトルドームづくり講習会	44人
			DIY講習会	21人
			化石発掘体験講習会	25人
9	シャボン玉作り	50人	井上社会教育推進員	
10	えほんのひろば	19人	平川図書館	
11	囲碁大会	12人	平川囲碁同好会	
12	健康体力測定会	145人	袖ヶ浦市高齢者支援課	
13	無料マッサージコーナー	165人	イト一鍼灸整骨院	
14	消防車両展示	100人	袖ヶ浦市消防本部	
15	木造住宅耐震コーナー	15人	袖ヶ浦市都市整備課	
16	キーワードラリー	188人	平川公民館	
合計(販売個数)		5,110個		
合計(参加人数)		1,592人		

第35回平川公民館まつり反省事項

	実行委員の意見等
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> •全体的にはお客様が結構多く来てくれたと思う。 •一斉清掃と重なり少し残念だった。 •コロナも何とか収まり、人でも戻りつつあり、おまつり広場の賑わいが戻ってきたのは嬉しいことである。一方催し物、展示コーナーでは、年々サークルが減少しておりとても寂しい。各サークルで創意工夫が必要かもしれない。この寂しいと思っていた展示コーナーに今年は「白い紙」をひらひらさせながら子ども達の顔、顔、顔が出たり入ったり。「キーワードラリーの場所はどこ?」「よく探してみて。もうちょっと奥かな?」などと会話もでき、笑顔がたくさん見られた。一緒にお父さん、お母さんもみえて「人の流れ」ができてとても良かったと思う。人が集められるのはやはり子ども達である。催し物に、カルタ取り大会、すごろく等、又、中学生以上が大人共々参加できる百人一首大会があったら面白いかなと思った。 •片付けに関し、もう少し人数を増やしてほしい。前半、後半に分割するなどの工夫が必要ではないか。 •会場内に飲食場所があつて、特に幼児を連れた家族にはよかった。 •事故、トラブルがなく良かった。楽しめた。 •陽も当たらないので、受付が寒かった。足元に電気ストーブくらい置いてほしかった。 •芸能発表会時、体育室の観客が少なかった。飲食スペースには沢山人がいたので、体育室の後方に飲食スペースを作れたらよかったのではないかと。又、各サークルの発表前に、体育室内外にお誘いの放送があったらもう少し集まるのではと思った。
展示の部	<ul style="list-style-type: none"> •展示の仕方なども素晴らしいと思った。沢山の作品を出展して下さった方々にも、素晴らしい作品をありがとうございました。 •準備、片付けが大変だったと思うが、多目的室も土足で入れるようになっていたのは良かった。 •毎年セロテープ等の材料を用意してもらい、ありがたい。 •ギャラリートークがあってもよい。
催し物の部 (おまつり広場)	<ul style="list-style-type: none"> •喫茶コーナーは、ケーキのみの購入希望が思ったよりもいたので、数を増やしても良いと思う。午後からの販売で、待っていてくれた方もいたので、午後の集客につながったと思うが、午前も時間を限定して販売すると良いと思った。 •食べ物の販売は、集客力があると思うので、出店を増やしても良いのでは。 •焼き鳥とフランクフルトが安くてよかった。
催し物の部 (芸能発表等)	<ul style="list-style-type: none"> •「作って遊ぼう! 簡単おもちゃ」のビー玉の入った回転物は面白がって結構小学生が楽しんでくれたが、実施場所(体育室の割当て場所)が広すぎた。 •久しぶりに小学生の合唱を聞くことができ、とてもよかった。 •小学生の発表の次の出演だったため、観客が大勢帰ってしまい、寂しい中での発表になってしまったことが残念だった。 •2日目14:30からのひこうき雲のバンド演奏を見ている人が少ないようでもったいないと思った。その時間だと帰られる人も多かったし、まつり終了間近だったので、最後の買い物をしている人がいたり、会場の方には、人が集まらない感じだった。聞こえてきた曲はとても上手だった。(買い物中の人にも聞いてもらえるよう、外にもスピーカーを設けていた。)
催し物の部 (講習会)	<ul style="list-style-type: none"> •ペットボトルドームは大変好評だった。取り上げたテーマが良かったのだと思う。 •手伝いをした化石発掘体験は、始まる前から子ども達が並び出して、終了間近には、ほぼキットがなくなるという人気があるイベントだったと思う。講師のおかげで準備や体験中もスムーズに進められた。子ども達も楽しそうに体験していたように見えた。 •風作りは参加者が少なくて残念だったが、チーバくんの絵は使用許可が必要である等勉強になった。
総括(良かった点、改善すべき点など)	
<ul style="list-style-type: none"> •キーワードラリーは初めて行ったが、まつり各所に立ち寄りきっかけや、公民館のことを知るきっかけにもなり、良い試みだった。 •芸能発表会は、プログラム記載時間より早く進んでしまい、各グループで来場を案内していた知り合い等が来る頃には始まってしまっていたということがあったので、プログラムは、早めの時間を記載しておきたい。 •観客の確保は、各サークル(特に出演団体)会員にも協力してもらい、周知に取り組んでもらう必要があると感じた。(公民館で早めにまつりや芸能発表会の案内を作成しておきたい。) •1日目が強風のため、おまつり広場の模擬店を体育室前に設置したが、体育室の南側のドアをふさぐ形となってしまう、体育室での催しがわかりづらく、入室しづらい等の弊害が出た。気象により模擬店を館内に移したことは適正だったが、こまめに催しの案内アナウンスを行う等、対応を検討したい。 •公民館まつりは、模擬店や体験会、講習会等を担う団体や、ステージや展示での発表団体も減少傾向にあるが、関係団体に過度な負担なく、引き続き公民館活動をPRし、活動成果を地域に発表、還元いただける、地域で楽しめる催しであり続けなければならないので、ご意見うかがいながら工夫をしていきたい。 	

第36回長浦公民館まつり実施報告書

開催日：令和5年11月18日（土）・19日（日）

会 場：長浦公民館

来館者：5, 379人

（1日目 2, 204人、2日目 3, 175人）

【展示の部】

場 所		展 示 内 容	
1 階	交流ロビー	袖ヶ浦市民が望む政策研究会	6点
		団体紹介 ファミリーサポートセンター・子ども館	2点
	多目的室	絵画サークル悠彩・悠彩2	37点
		絵画サークル心美	9点
		チャイルド・アート・サークル	10点
		押花額絵サークル	54点
		木遊会	46点
		長浦硬筆習字サークル	12点
家庭倫理の会袖ヶ浦支部	20点		
2 階	展示ホール	長浦書友会	26点
		袖ヶ浦俳壇	13点
	研修室1・2	子ども作品展	416点
		久保田保育所	25点
		蔵波台さつき幼稚園	75点
		袖ヶ浦桜ヶ丘幼稚園	49点
		長浦小学校	42点
		蔵波小学校	106点
		長浦中学校	30点
		蔵波中学校	29点
	榎の実特別支援学校	60点	
	会議室2	パッチワークはぎれクラブ	113点
千葉友の会		7点	
廊下	長浦公民館主催事業展示	5点	
		合計	776点

【催し物の部】

場 所	催 し 物 名	参加者数等	備 考
屋外 前庭広場	模擬店	4,852個	【18日】 ガールスカウト87団（日用品バザー）50人 青少年相談員長浦支部（揚げパン）564個 [19日] 日常生活支援そでふれ195個 NAGAX（みそ田楽、飲み物、くじ）749個 社会教育推進員（フランクフルト、ジュース）489本 地域デビュー講座（綿あめ）188本 [両日] 社会教育推進員（スーパーボールすくい）1029回 序の口、袖ヶ浦ミャンマー友好会（サモサ、焼きそば、カレー）400個 ゆりの里（まつり寿司、豚汁、果物販売）1,188個
	オープニングゲスト（代宿太鼓保存会）	100人	
	消防車両展示	200人	
	チョイソコがうら登録会	100人	
	シティプロモーション動画撮影	130人	
1階	多目的ホール	サークル発表会	500人
		長浦中吹奏楽部演奏会	130人
		蔵波中音楽部演奏会	150人
		姉崎高校ダンス部ダンスパフォーマンス	200人
		一緒にジャンボリミッキーを踊ろう！	200人
		ちびっこ広場	150人
	ロビー	ネイチャークラフト	101人
		活動紹介動画上映	120人
		型抜き	252回
		菓子工房リアン	637個
		オレンジカフェ	122個
推進員カフェ		357個	
2階 和室	救急救命体験	30人	
3階 おかのつえ図書館 3階視聴覚室	ミニコンサート	306人	がうら邦楽合奏団、長浦ジュニアお琴・尺八教室「ひまわり」、長浦マンドリンアンサンブル、コールわかば、袖ヶ浦混声合唱団
合 計		8,637人	

第36回長浦公民館まつり反省事項

実行委員会議での意見等

展示	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は長浦公民館だけだったが、ほかの公民館でも展示がしたい。 ・サークル作品展、子ども作品展 感動いたしました。
発表	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で会場をお借りして練習している相撲甚句の同好会ですが、発表する機会をお与えいただけませんか。会員数が少なくなり、今は解散しましたが、少数（5名）ながら活動は有志でしております。登録サークルでないとダメなのでしょうか。 ・（おかのうえ図書館視聴覚室の）ミニコンサートにおいて、照明が暗く、譜面が良く見えなかった。部屋の照明だけでは暗いので、別の照明を用意できないか。 ・サークル発表会を司会2人で取り仕切るのは難しい。今年はまちづくり協議会から手伝いが3名いらっしゃったが、来年度は考えてほしい。
模擬店	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの公民館ではキッチンカーが出ていたが、長浦は可能か。 ・お菓子とコーヒーが隣あって売っていたのは良かった。 ・午後2時まで食べ物販売があれば良い、という言葉をよく聞いた。 ・食べ物系の種類がもっとあるといいと思いました
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・受付を担当したが、全体を把握できる人間がその場に欲しい。 ・サークル発表会のプログラムを誰も手に取らなかったの、受付で配布した方が良い。
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館登録サークルは多いと思いますが、参加サークルは少ないように思えました。模擬店も量が少ないようでした。 ・自分が担当したところだけで、他のところを見ることができませんでした。とても残念でした。途中で展示物等見ることができるようなスタッフ配置が必要かとも思います。Butどれもとてもすてきだったと聞きましたよい文化祭（まつり）でよかったなあと思います。 ・地域の方々の発表の場があり、良いお祭りだと思っています。年配の方だけではなく、幼稚園～小学生の展示、中学生は演奏、また高校生のダンス参加があり、幅広い年齢の方が参加され楽しめました。若手のボランティアさんが増えて、地域が活性化されるような気持ちになりました。これからも沢山増えるといいですね。

総括（良かった点、改善すべき点など）

<p>(良かった点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬店において、飲食物の販売個数を増加してもらった結果、昨年度は昼前に売り切れていた状況を改善できた。 ・登録サークルに準備、当日運営、片付けのボランティアを依頼し、展示・発表には関わらないサークルの参加を促した。 ・地域デビュー講座生の参加により、幅広い年代が関わる公民館まつりが実施できた。 <p>(改善すべき点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッチンカーの出店を希望する声も聞かるため、検討を要する。 ・サークル発表会のプログラム作成が遅れ、周知が遅くなった。 ・サークル発表会において、司会の負担が大きいためスタッフ配置数を含めた改善を要する。

第37回 根形公民館まつり実施報告書

開催日:令和5年11月4日(土)、5日(日)

会 場:根形公民館

来場者数:2, 222人 ※来場者名簿での把握数

(11/4日 1,189人 11/5日 1,033人)

【展示の部】

No.	会 場	展 示 名	出 品 点 数	内 容 (団 体 名 等)					
1	1 階	子ども作品展	105点	花まる絵画教室			15		
				根形保育所	54	根形小学校 (絵画)	36		
				篠笛展示			篠笛の会		10
				ファミリーサポートセンター紹介			ファミリーサポートセンター		2
2		国際交流協会紹介	1点	国際交流協会			1		
2 階	廊下	子ども作品展	148点	根形小学校 (書道・硬筆)	36	根形中学校 (工作、調べる学習)	112		
		和風展示	24点	袖ヶ浦市和風保存会			24		
		ミニチュア作品展示	1点	袖ヶ浦市シニアクラブ			1		
	視聴覚室	陶芸作品展	275点	陶芸サークル陶	16	陶芸サークル窯	22		
				陶芸サークル 彩の会	22	陶芸サークル 土楽	31		
				陶芸サークル釉	24	陶芸サークル形	45		
				陶芸サークル 壺々土	10	陶芸サークル 陶楽	33		
				陶芸サークル椿	19	陶芸教室	34		
				陶芸サークル 土喜	19				
	写真展	16点	写団上総			16			
	生け花展	5点	生け花サークル優華会			5			
	書道作品展	19点	根形書友会	5	望陀書友会	14			
	会議室	子ども絵画教室作品展	23点	子ども絵画教室			23		
講義 研修室	成人絵画作品展	69点	成人絵画教室	18	快心	8			
			サークル悠	9	イーゼル	15			
			サークル遊心	8	パレット	11			
合 計			698点	昨年度 559 点		27点増			

【催し物の部】

No.	催し物名	参加者数等	備 考			
1	おまつり広場	153人	青少年相談員	37人	販売数	2,000
			子ども会	17人		345
			ふる里学舎	6人		1,390
			ゆりの里	10人		530
			地区社会福祉協議会	15人		500
			根形直売会	3人		242
			野菜販売	1人		70
			NESPO	10人		300
			あすみ堂	4人		120
			陶芸バザー	50人		420
2	まつり来館者	1,718人	4日：840人、5日：833人 公民館受付スタッフ 16名 ニコニコ教室29名			1,718人
3	出会いの広場	8人	紅茶等（スタッ	8	販売数	256
4	家族でトライ	40人	参加者数（スタッフ含む）			40人
5	芸能音楽発表会	227人	出演者数（10団体）			227人
6	油絵体験会	18人	講師：伊藤 景子（成人絵画教室講師）			18人
7	親子陶芸教室	26人	講師：陶芸サークル陶			26人
8	講習会「凧づくり」	70人	講師：袖ヶ浦市凧保存会			70人
9	講習会「米粉パン・ピザ作り」	20人	講師：袖の花			20人
10	テニス教室	70人	講師：NESUPO			70人
11	講習会「木工・石膏手形」	65人	講師：千葉土建かずさ支部			65人
12	オープニング（ジュニアお琴「もみじ」）	1人	音楽発表			1人
13	エンディング（根形中学校吹奏楽部）	18人	吹奏楽発表			18人
14	音楽発表（袖ヶ浦高校音楽部）	15人	吹奏楽発表			15人
15	伊藤鍼灸院	3人	スタッフ			3人
16	袖ヶ浦市消防本部啓発	8人	消防車展示、広報物資配布			8人
17	シルバー人材センター	4人	啓発物資配布等			4人
18	図書室	77人	リサイクル市・読み聞かせ（スタッフ含む）			77人
合 計		2,541人	令和元年度 7,428人			4,887人減

※昨年度参考 1,432人 （昨年度は模擬店なし）

第16回平岡公民館文化・スポーツまつり 実施報告書

実施日：令和5年11月4・5日

【展示の部】

No.	会場	展示名	出品点数	備考	
1	1階 ロビー	正面玄関	ウェルカムアート作品展示	2 切り絵	
2		平岡公民館主催講座紹介	7 掲示物		
3		サークル紹介	15 掲示物		
4		名幸ヶ丘の会活動紹介	1 掲示物		
5		いきいきサポート活動紹介	5 掲示物		
6		凧展	8 伝統工芸保存会		
7	ロビー	平岡公民館主催講座紹介	7 掲示物		
8	2階 会議室	手工芸	142	リメイク工房	92
				古里の仲間たち	50
		絵画	10	絵画同好会彩友	
		書道	2	一般	
		油絵	2		
薪アート	1				
9	研修室	子ども作品展	197	平川保育所	66
				平岡小学校(絵画・工作)	49
				平岡小学校(書写)	49
				平岡放課後児童クラブ	33
合計			399	(令和4年度449点)	

【催し物の部】

No.	開催日	催し物名	販売・参加者数等実績	備 考		
1	11/4・5	おまつり広場	販売個数 2,643個	泉会(焼きそば)	515個	
				青少年相談員平岡支部(フランクフルト)	880本	
				青少年相談員平岡支部(ポップコーン)	166個	
				平川元気ネットワーク(焼き鳥)	750本	
				JAきみつ(太巻き寿司、農産物加工品)	332個	
			参加者数 1,224人	ガウラネットワーク(ふわふわガウラ)	489人	
				平川元気ネットワーク(射的)	280人	
				青少年相談員平岡支部(投げ斧)	130人	
				木更津警察署(移動交番・11/4)	100人	
				イトー鍼灸整骨院(無料マッサージ・11/4)	75人	
2		駄菓子販売	302個	社会教育推進員(駄菓子の詰め合わせ)	302個	
3		サークル作品販売	95点	リメイク工房(洋服等販売)	95点	
4	11/4	オープニングセレモニー	約360人	袖ヶ浦交響楽団コンサート、平川保育所ダンス、平岡小学校合唱、平川中学校吹奏学部演奏		
5		ガウラ&ソデリーフフォトショット	132人	着ぐるみとの写真撮影コーナー(社会教育推進員)		
6		芸能・サークル発表会&体験会	来場者数 延べ約320人 体験会実施:4サークル	カナリアンズ、桂舟会、すずらんの会、童謡を歌う会 さくらんぼ、袖ヶ浦鼓蝶会、ひらおかモチーフ、ダンスサークルジョイ		
7		絵本の読み聞かせ	32人	中央図書館職員		
8		子ども工作教室	73人	指導者:住友化学(株)千葉工場 制作物「浮沈子他」		
9		人形劇	20人	人形劇団とんとん 演目「こすずめのぼうけん」		
10		手芸体験	22人	指導者:リメイク工房 制作物「動物の小物入れ」		
11		樹脂粘土体験	9人	指導者:古里 よし子 制作物「ティディベアの置物」		
12		11/5	野里ばやし	58人	野里ばやし太鼓保存会	
13			上泉子ども太鼓	65人	上泉子ども会	
14			袖ヶ浦高校新体操部演舞&体操教室	演舞鑑賞 120人 体操教室参加者 20人	袖ヶ浦高校新体操部	
15	おもちゃ病院		来客数 8人 おもちゃ修理 10件	おもちゃの修理ボランティア(おもちゃ病院袖ヶ浦)		
16	トショロのまちがいさがし		73人	平岡公民館図書室職員		
17	救命講習会		58人	指導者:平川消防署		
18	アロマワックスサシェ		18人	指導者:伊藤 慶子		
19	体力測定会		98人	高齢者支援課		
20	11/4・5		キッズコーナー	150人	シャボン玉遊び	
21			ビンゴ大会	83人	社会教育推進員	
22			キーワードクイズ	322人	館内5箇所で開催、正解者にプレゼントを贈呈	
販売個数合計			3,040個			
来場・参加者数合計			3,265人			

【スポーツの部】

No.	開催日	催し物名	参加者数	備 考
1	11/3	グラウンドゴルフ	38人	名幸ヶ丘ふれあいクラブ
1	11/4・5	モルック	104人	名幸ヶ丘ふれあいクラブ
3	11/4	友遊ボール体験	35人	野里ワイズウルフ
4	11/5	サッカー体験	64人	平川SC
5		ポッチャ	67人	名幸ヶ丘ふれあいクラブ
合 計			308人	

来館者数	1630人	内訳 11/3 53人、11/4 907人、11/5 670人
------	-------	---------------------------------

第16回平岡公民館文化・スポーツまつり反省事項

	実行委員会議での意見等
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・前回よりも来館者数が増え、人出も多く活気に満ちていた。 ・随時、イベント開始前に館内放送が入り、来場者にとってとてもわかりやすかった。 ・前回はグラウンドゴルフ大会を別会場(平岡小学校グラウンド)で開催したが、今回はメインイベントの前日に公民館で開催することで、芝生でプレイすることができ、かつ駐車場の確保することができた。 ・西門での来館者数のカウントがうまくできなかった(担当者の引継ぎがうまくいかなかった、フィルムを貼っている車の乗車人数の確認ができなかった等)。
展示の部	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の懸念事項(見るためのスペースの確保等)が改善されていてよかった。 ・2階通路に公民館の主催講座の展示をしてあったが、場所が薄暗く、足を止めて見てくれる人がいなかったのではないかな。
(おまつり広場) 催し物の部	<ul style="list-style-type: none"> ・前回と比較すると、模擬店の店舗数(2店舗)及び販売品目を増やすことができた。また、新たなイベント(無料マッサージコーナー)なども実施していただき、バラエティにとんだ模擬店を開催することができた。 ・子供向けのイベント(フワフワガウラ、ガウラ&ソデリーフフォトショット、消防車の展示コーナー等)では、前回よりも参加者が30%以上増えた。 ・焼きそばは早く売れてしまうので、もう少し販売数を増やしてもらいたい。
(講習会他) 催し物の部	<ul style="list-style-type: none"> ・前回に引き続き、キーワードクイズで全館を回れるように工夫していたのは良かった。景品の種類も増えていて良かった。キーワードの「またきてね」という言葉もとてもうれしかった。 ・袖ヶ浦高校新体操部の演舞は圧巻であった。できれば次回も実施してもらいたい。 ・人形劇とガウラ&ソデリーのフォトショットの時間帯がかぶってしまい、人形劇の観覧者に影響が出てしまった。 ・2日目のロビーが寂しかった。子ども向けの体験活動やワークショップ等があると良い。
発表の部	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル発表会の「体験会」では、会場が盛り上がり、参加者、主催者ともに楽しく活動ができた。 ・出演時間が守られていない団体があった。自分たちが発表をしたら終わりではなく、他のサークルの発表も見してほしい。 ・中庭に車を止めて楽器等を搬入してもらったが、すぐ近くを車が進入してくるので危ない。別の場所に駐車スペースを確保した方がよかった。
スポーツの部	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技とも大人気で、前回より参加者が多かった(全競技を合わせると、参加者が30%以上増えた)。 ・外で実施している競技について、参加者を増やせるよう、会場に案内地図やポスターなどを掲示した方が良いのではないかな。
総括(良かった点、改善すべき点など)	
<ul style="list-style-type: none"> ・今回のコンセプトは「五感を通して、文化・スポーツ・イベントをより一層楽しんでいただく」を掲げ、内容を検討し、様々なイベントを開催した。イベント体験者からは、「一緒に活動することで楽しさが増した」、「新しい発見や知識が得られた」、「いろいろな人と交流ができた」などの感想をいただいた。「体験」をすることで、より深い感動や喜び、楽しさを味わうことができ、「五感を通して楽しんでいただきたい。」という思いが少しは伝わったように感じている。 ・袖ヶ浦交響楽団や太鼓の演奏等を通し、地域住民に対して芸術や文化にふれる機会を作ることができた。また、間近で迫力のある演奏を聞きくことで、音楽の素晴らしさや楽しさ等について、より大きな感動を与えることができた。 袖ヶ浦高校新体操の演舞は、選手の息遣いや体の動きなど、普段近くで見ることができない素晴らしいパフォーマンスを見ていただくことができ、観客に多くの感動を与えた。また、多くの子供たちが新体操に興味を持ち、体操教室に参加していたが、子供たちの「自分もやってみよう」という気持ちが見て取れ、素晴らしい体験の機会となった。 ・まつりがマンネリ化しないよう、新たなイベントとして、地元団体(野里地区及び上泉地区)による太鼓の演奏や、袖ヶ浦高校新体操部による演舞等を行った。また、ワークショップについても4つのうち2つの講座について内容を変更し、新規メニューで実施した。 ・「公民館と地域住民が一体となって楽しまれている様子が伺えた。」「他世代との交流の場に参加することができ、貴重な機会となった。」等の感想をいただき、このまつりを通して、地域住民の交流を促進することができたのではないかと考える。 ・飲食スペースや休憩スペースが少なかったので、次回は増やした方が良い。 ・多目的ひろば(駐車場)からの移動について、歩行者の安全対策が必要である(車の徐行表示、歩行スペースの確保等)。 	

市民会館・公民館まつりの実施風景

● 市民会館



音楽の広場(アロハリリーズ)



おまつり広場(青少年相談員模擬店)



子どもの広場(椎の森里山会工作)



将棋対局(日本将棋連盟袖ヶ浦支部)

● 平川公民館



おまつり広場



芸能発表会



大道芸体験



化石発掘体験講習会

市民会館・公民館まつりの実施風景

● 長浦公民館



オープニング



模擬店



体験コーナー



姉校ダンス部

● 根形公民館



親子陶芸教室



芸能音楽発表会



サークル作品展示



フィナーレ

市民会館・公民館まつりの実施風景

● 平岡公民館



おまつり広場



上泉子ども太鼓



袖ヶ浦高校新体操部体操教室



作品展示&販売会



ボッチャ

市民学芸員自主企画イベント万葉こどもまつり実施報告

- 1 期日 11月23日(木) 10:00~15:00
- 2 会場 郷土博物館万葉植物園
- 3 催し物 万葉植物園の活用の一環として、市民学芸員が企画した万葉こどもまつりを実施した。今回が初めての試みである。催し物は、万葉植物園で採集したどんぐりや松ぼっくり、落ち葉などを用いた手作り感あふれる企画内容となっている。幼児でも簡単に体験できる内容のため、家族が楽しみながら参加していた。

実施内容は下記のとおりである。

- 特別公演 神納神楽ばやし
- 万葉植物園ものしり探検
 - ・植物園たんけんたい
- みんなで百人一首 ※2回実施
- 落ち葉やどんぐりで作って遊ぼう
 - ・どんぐりのアクセサリ作り
 - ・葉っぱの王冠
 - ・すすきの壁飾り※午前中のみ
 - ・葉っぱで魚釣り
- 昔のあそびをしよう
 - ・笹舟流し・どんぐりコマ・お手玉
 - ・紙ヒコーキ(杉本)
 - ・おなもみゲーム
- みんなでお絵描き

- 4 広 報 市広報紙、ポスター掲示(市公共施設等、博物館敷地内) チラシ配布
- 5 参加者数 250人 (参加延べ人数649人)





どんぐりのアクセサリ、葉っぱの王冠



落ち葉の魚釣り



おなもみダーツ



笹舟流し



みんなでお絵描き



神納神楽ばやし体験会

袖ヶ浦市立図書館 令和5年度秋のトショロ月間 10月21日～11月19日

日にち	曜日	会場	事業名	人数
10月21日	土	長浦	そろそろ始める 団塊ジュニアのための老後資金計画	47
10月22日	日	平川	おはなし会	10
10月24日	火	中央	おひざにだっこのおはなし会	24
10月26日	木	中央	秋の名画鑑賞会「ベイビー・ブローカー」	45
10月28日	土	長浦	〔サークル発表〕枕草子から絵本まで	30
10月29日	日	中央	中庭イベント「青空かみしばい劇場」	46
			中庭イベント「ハロウィン工作教室」	52
			中庭イベント「トショロのまちがいさがし」	28
11月1日	水	中央	文芸講座「吉村昭を読む」(オープニング講演)	45
11月3日	金・祝	長浦	〔サークル発表〕大人のためのお話し会	32
11月4日	土	平岡	すきすき絵本タイム	31
11月5日	日	根形	すきすき絵本タイム	35
11月8日	水	長浦	秋の名画鑑賞会「最高の人生のつくり方」	53
		中央	文芸講座「吉村昭を読む」(連続講座①)	34
11月11日	土	長浦	えほんのひろば	17
			〔サークル発表〕おかのうえ人形劇団とあそぼう	59
11月15日	水	中央	文芸講座「吉村昭を読む」(連続講座②)	28
11月16日	木	中央	秋の名画鑑賞会「すばらしき世界」	51
11月18日	土	中央	図書館でブックスタート	15
11月19日	日	平川	えほんのひろば	19
11月22日	水	中央	文芸講座「吉村昭を読む」(連続講座③)	26
11月29日	水	中央	文芸講座「吉村昭を読む」(連続講座④)	23
11月29日	水	中央	文芸講座「吉村昭を読む」(連続講座④)懇談会	10
10/21～11/19		長浦	こんな本もあったんだ!? ちょっとマニアックな本たち	485
10/21～11/19		中央	イチオシ本のPOPを書こう!	461
10/21～11/19		長浦	イチオシ本のPOPを書こう!	81
10/21～11/19		平川	イチオシ本のPOPを書こう!	24
10/21～11/19		根形	イチオシ本のPOPを書こう!	41
10/21～11/19		平岡	イチオシ本のPOPを書こう!	5
10/21～11/19		平川	本のおたのしみ袋	52
10/21～11/19		根形	本のおたのしみ袋	17
10/21～11/19		平岡	本のおたのしみ袋	11
10/21～11/19		平川	トショロのまちがいさがし	192
10/21～11/19		根形	トショロのまちがいさがし	90
10/21～11/19		平岡	トショロのまちがいさがし	102
10/21～11/17		中央	奈良輪小3年生「生き物ブック」展示	40
11/18～11/19		平川	中川小5年生「マイベスト俳句集」展示	34
9/30～10/9		中央	〔サークル展示〕やまゆり俳句会	13
10/20～11/9		中央	〔サークル展示〕宇麻具多短歌会	5
11/10～11/29		中央	〔サークル展示〕短歌そでがうら	9

参加人数計 2,422人



中央・中庭イベント「青空かみしばい劇場」



長浦・サークル発表 大人のためのお話し会



根形・すきすき絵本タイム



中央・文芸講座



トショロのまちがいさがし



中央・サークル展示 やまゆり俳句会

報告・連絡（５）今後の事業の実施予定について

令和6年袖ヶ浦市二十歳を祝う会について

1. 趣 旨 二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます国民の祝日にあたり、本市の二十歳の青年がより豊かな人生を築くための記念行事とする。
2. 目 標 生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ。
3. 日 時 令和6年1月7日（日）
午前10時30分から（昭和・長浦・根形・平川地区）
午後 1時30分から（蔵波地区）
4. 主 催 袖ヶ浦市・袖ヶ浦市教育委員会
袖ヶ浦市二十歳を祝う会各地区実行委員会
5. 対 象 (1) 平成15年4月2日から平成16年4月1日までの間に生まれ、市内に住民登録されている者。
(2) 平成15年4月2日から平成16年4月1日までの間に生まれ、袖ヶ浦市内小学校または中学校を卒業し、他市町村に住民登録を移している者で出席を希望する者。
6. 会 場

昭和地区	市民会館	／	計197名	男	101名	女	96名
長浦地区	長浦公民館	／	計 98名	男	53名	女	45名
蔵波地区	長浦公民館	／	計146名	男	72名	女	74名
根形地区	根形公民館	／	計 31名	男	16名	女	15名
平川地区	平川公民館	／	計 87名	男	38名	女	49名
			(R5. 6. 1現在	合計559名	男	280名	女279名)
7. 記念式典
(式次第) 進行
 - (1) 開式のことば
 - (2) 国歌斉唱
 - (3) 主催者挨拶（市長、副市長、教育長、企画政策部長）
 - (4) 来賓祝辞（県議会議員、市議会代表）
(来賓紹介、祝電披露)
 - (5) 二十歳代表挨拶（二十歳代表）
 - (6) 閉式のことば
8. 記念行事 昭和地区：記念写真撮影、ビデオレター
長浦地区：記念写真撮影、恩師からのメッセージ、ビデオレター
蔵波地区：記念写真撮影、恩師からのメッセージ、ビデオレター
根形地区：記念写真撮影、ビデオレター
(後日、小学校へ記念品贈呈)
平川地区：記念写真撮影、ビデオレター



新春マラソン大会参加者募集



日 時：令和6年1月6日（土） 開会式 8：30～ ※小雨決行
 主 催：袖ヶ浦市スポーツ協会 後援：袖ヶ浦市教育委員会
 会 場：袖ヶ浦市総合運動場 陸上競技場とその周辺道路

受付開始時間	部 門	距 離	スタート時間
8：00	小学1・2年生 男子	1 km	9：00
8：10	小学1・2年生 女子	1 km	9：10
8：20	小学3・4年生 男女	2 km	9：20
8：40	小学5・6年生 男女	2 km	9：40
9：00	一般・男女	10 km	10：00
9：15	中学生男子	3 km	10：15
9：35	中学生女子	3 km	10：35
10：00	一般・男女	5 km	11：00

参加資格：市内在住、在勤、在学の小学生以上

参加費：①小中学生 200円 ②一般（高校生含む）400円

※傷害保険料を含みます。 当日受付で集金します。

表 彰：(1)各種目1位から3位までの入賞者には賞状、メダル、記念品があります。
 (2)参加者全員に参加賞があります。

そ の 他：・受付はスタート時間の1時間前から部門別に行います。

・当日申込は受け付けません。

・荒天により中止と判断した場合、広報無線及びHPにてお知らせします。

電子申込ができるようになりました ※期限12月15日（金）まで

下記のQRコードを読み取って、申込してください。

小中学生申込



一般申込（高校生以上）



※電 話での申込は (62) 3139 までお願いします。（社教連協事務局）

※FAXでの申込は (62) 4950 までお願いします。（社教連協事務局）

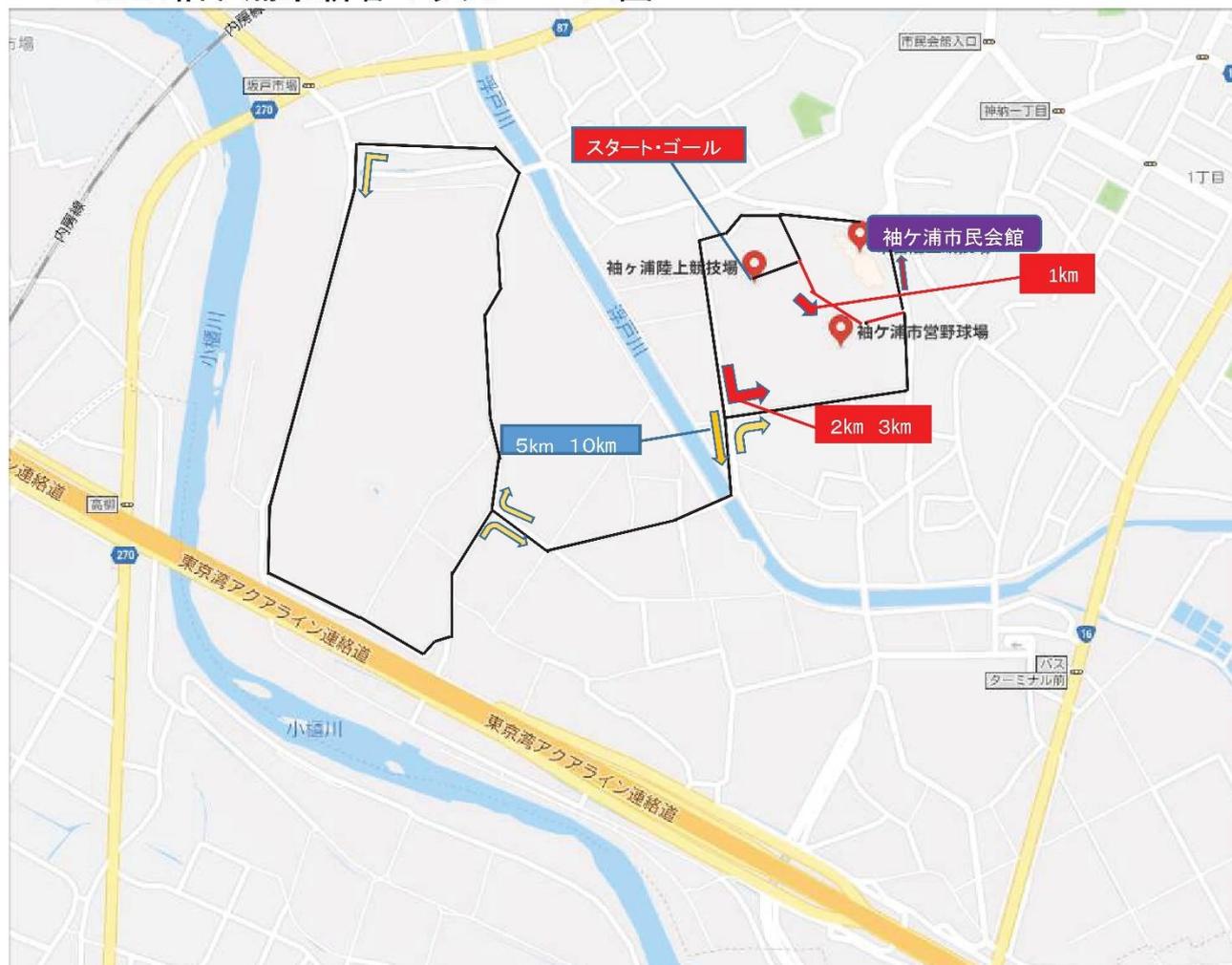
住所・氏名・年齢・電話番号・参加部門と距離を記入し送付してください。

問い合わせ先

・新春マラソンについて	社教連協事務局	電 話 (62) 3139
・QRコードの申込について	教育委員会スポーツ振興課	電 話 (62) 3791
・当日の連絡先	総合運動場	電 話 (62) 5350

2024袖ヶ浦市新春マラソンコース図

2024年1月6日開催



コース図の詳細は市のホームページをご確認ください。



市ホームページ

第42期第2回市民三学大学講座

生涯学習推進大会記念講演

第285回



気象に学ぶ ~風災害と防災情報~



■ 講師 **木原 実氏** (日本テレビお天気キャスター / 気象予報士/防災士)

■ 日時 **令和6年2月10日(土)**
14時30分~16時00分

■ 会場 **袖ヶ浦市民会館 大ホール**

※ **オンラインのみ事前申し込みが必要**

入場無料

- ▶ 手話通訳あり
- ▶ 保育あり



- 保育申込は2月2日(金)までに生涯学習課へお申し込みください。
- 1人あたり利用料: 200円。対象: 2歳以上の未就学児

■ 講師プロフィール

神奈川県立厚木高等学校から、日本大学芸術学部演劇学科に進学。卒業後、声優、神谷明氏の事務所に所属。レポーター、声優のかたわら、小劇場活動を続行。1986年より日本テレビの天気コーナーを担当。翌1987年「花組芝居」旗揚げ公演に参加。後年、神谷明氏の事務所を辞して、劇団「花組芝居」の座員となる。現在、(有)木原実事務所代表。

 **オンライン (YouTube) で配信します。**

配信期間 令和6年2月22日(木) ~ 29日(木)
申込期限 令和6年2月16日(金)
申込方法 1. 申込フォーム (二次元コード参照)
2. 生涯学習課へ電話又はFAX

※通信にかかる費用は各自のご負担になります



(申込フォーム)